			1
事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
1	勤労者支援対策事業	勤労者の生活及び住宅資金、厚生活動及び労働環境改善等への支援及び補助	_
2	農業総務運営事務事業	農業全般の事務処理と備品、物品、不動産等の維持管理。農政協力員に関すること	-
3	農業振興普及事業	農産物の各種品評会の開催、湘南農協への支援、湘南ゴールドの苗木購入補助、その他農業支援	-
4	直売所・加工所運営事務事業	寺坂加工所及び城山直売所の維持管理と町内農産物の消費者への紹介	-
5	市民農園事業	6箇所の市民農園募集、貸付	-
6	農地活用・鳥獣対策事業	農作物へのイノシシ被害対策として、罠管理委託、捕獲手数料。新規就農者等への農地あっせん、集約化。	-
7	畜産振興事業	畜産会の事務処理、各種共進会に協力し、各種畜産振興に対する助成	-
8	農業用水路等維持管理事業	農業用水路の維持管理	-
9	林業振興事業	林地台帳整備委託、自伐型林業推進事業委託。	-
10	森林環境讓与税基金積立事業	基金の積立	(5)
11	漁業振興運営事業	朝市事業に対する支援、各種関係団体への負担金支出、漁業の振興における栽培漁業の啓発	-
12	商工業振興対策事業	中小企業者及び商工会等への支援及び補助	-
13	観光振興対策事業	観光ノベルティ及びリーフレット等の作成、関係関係団体等への支援及び補助	-
14	観光施設管理運営事業	駅前ロータリー、公衆トイレ等の維持及び管理	-
15	海水浴場振興事業	海水浴場の開設、管理及び運営	-
16	鴫立庵管理事業	鴫立庵の維持及び管理、指定管理者との調整及び連携	-
17	旧島崎藤村邸管理事業	旧島崎藤村邸の維持及び管理	-
18	みなとオアシス推進事業	みなとオアシスエリアの活性化を図る。	-
19	大磯港指定管理事務事業	県との間で締結した「大磯港の管理に関する基本協定書」等に基づき、大磯港の管理を行う。	-
20	ポートハウスてるがさき管理運営事業	ポートハウスてるがさきの維持管理を行う。	-
17 18 19	旧島崎藤村邸管理事業 みなとオアシス推進事業 大磯港指定管理事務事業	旧島崎藤村邸の維持及び管理 みなとオアシスエリアの活性化を図る。 県との間で締結した「大磯港の管理に関する基本協定書」等に基づき、大磯港の管理を行う。	

令和4年度事務事業一覧表

事業番号	事業名							持制	も可能な	開発目	標(SD	Gs)						
番号	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
1	勤労者支援対策事業								0									
2	農業総務運営事務事業																	
3	農業振興普及事業		0															
4	直売所・加工所運営事務事業		0															
5	市民農園事業		0															
6	農地活用・鳥獣対策事業		0															
7	畜産振興事業		0															
8	農業用水路等維持管理事業		0															
9	林業振興事業													0		0		
10	森林環境譲与税基金積立事業													0		0		
11	漁業振興運営事業		0												0			
12	商工業振興対策事業								0									
13	観光振興対策事業								0									
14	観光施設管理運営事業								0									
15	海水浴場振興事業		0															
16	鴫立庵管理事業			0														
17	旧島崎藤村邸管理事業			0														
18	みなとオアシス推進事業													0				
19	大磯港指定管理事務事業								0									
20	ポートハウスてるがさき管理運営事業		0															

予算事業名	勤労	/ 者支	援対策	事業								事業番号	04 -	13	-	01
細分事業名	_										シ	一ト作成日	令和	口4年8	月9日	
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	01	事業	01	事	業開始年度	7	₹成30	年度	
7 并行口	云山	O1	水人	00		U1	П	O1	尹木	5	事業	終了予定年度	_			
部 等 名 課 等 名												係名				
産業	部						7,	なと推進	係							

				柱	Ⅴ 元気や	活力が生まれるまちづく	(4)							
		総	Р	部門	30 勤労・	就業								
		合計	Р	大施策	B 勤労者	福祉の充実								
		画	86	中施策	(1)勤労者	がの生活環境支援								
				施策目標	働く人の勍	労環境の向上や生活環 場	竟の改善を支援し	ます。						
計画	由		根拠	法令・条例等	勤労者住宅資金利子補給要綱/勤労者生活資金利子補給要綱/勤労者生活資金融資要綱									
P	事業		1	固別計画等			_							
l a	の概	行政	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号	_	実施項目名	_						
n)	要		(作	目 的 可のために)	勤労者の労	労働環境の改善及び生活の)安定と向上を図	18						
			(計	対 象 進を・何を)	町内に居住する勤労者									
				内 容	金融機関か	労働者福祉協議会等が行う福利厚生事業及び労働衛生相談医の窓口設置に対する補助 金融機関から住宅資金や生活資金の融資を受けた勤労者に対し、利子の一部を補給 生活資金の円滑な融資のため、取扱金融機関(中央労働金庫)に資金を預託								

			執行体制											
					単位	R01年度((決算)	RO	2年度(決算)	R03年度(決算	見込)	R04年	度(予算)	
			直接事業費	貴 (a)	千円	20, 9	03		21, 022	11, 012	!	1	11, 170	
				支出金										
			財際	支出金										
			凉 内	起債	千円									
	事	1	訳と	·の他		20, 0	00		20, 000	10, 000)	1	10, 000	
	事業費		— f	投財源		903	3		1, 022	1, 012			1, 170	
	費	職.	員人数(概算		人	0. 2	_		0. 24	0. 56			0. 61	
			人件費計	(b)	千円	1, 29	96		1, 418	3, 308		3, 570		
			総事業費(a) + (b)	千円	22, 1	99		22, 440	14, 320)	1	14, 740	
実施(D		Į	事業費内訳 R 04 年		普通旅費4千円、労働衛生相談医事業負担金220千円、 勤労者住宅資金利子補給補助金886千円、西湘地域労働者団体自主事業補助金60千円、勤労者生 資金預託金10,000千円									
٥														
_		本事	業が属する	総合計画の				指標:	名			目標	値	
\sim		本事	事業が属する 中施策の成				勤:		<mark>名</mark> []] 策支援件数			目標(
<u> </u>		本事					勤:			R03年度 (決算見込)	R04年 (予算	36		
	抬	3		果指標	t	調査)		労者金融対	対策支援件数 R02年度			36 度 (1)	R07年度	
>	指標	; (対	中施策の成 対象指標	果指標 指標名 勤労者数 (H27/R0	文 02国勢		単位 人	労者金融対	開支援件数 R02年度 (決算)	(決算見込)	(予算	36 度 (I) 86	R07年度 (目標)	
<u> </u>	指標値	· (対	中施策の成 対象指標 対象者数等)	集指標 指標名 勤労者数	文 02国勢		単位	労者金融交 項 目	大 (決算) 12, 186	(決算見込) 12,186	(予算 12, 18	36 度 (I) 86	R07年度 (目標) 12, 186	
•	標	· (対	中施策の成 対象指標 け象者数等) 活動指標 (活動量)	果指標 指標名 勤労者数 (H27/R0	文 02国勢		単位 人	労者金融対 項 目 一 計画値	# T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	(決算見込) 12,186 36	(予算 12, 18 36	36 度 (I) 86	R07年度 (目標) 12, 186	
)	標	· (交)	中施策の成 対象指標 対象者数等) 活動指標	果指標 指標名 勤労者数 (H27/R0	文 02国勢		単位 人	デオ金融 x 項 目	#策支援件数 R02年度 (決算) 12, 186 30 30	(決算見込) 12,186 36	(予算 12, 18 36	36 度 (I) 86	R07年度 (目標) 12, 186	
)	標	· (交)	中施策の成 対象指標 対象者数等) 活動指標 (活動量) 成果指標	果指標 指標名 勤労者数 (H27/R0	文 02国勢		単位 人	対者金融 項 目 計画値 実績値 目標値	# T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	(決算見込) 12,186 36	(予算 12, 18 36	36 度 (I) 86	R07年度 (目標) 12, 186	
)	標	(文) (文)	中施策の成 対象指標 対象者数等) 活動指標 (活動量) 成果指標	#指標 名 指標 名 勤労者数 (H27/R0 勤労者金	放 02国勢 ───── 会融対第 ──	<u> </u>	人人	労者金融 項 目 計 実 目 計 実 標 積 値 実 達 成	# ((決算見込) 12,186 36	(予算 12, 15 36 ———————————————————————————————————	36 度 (上) 86	R07年度 (目標) 12, 186 36 ——————————————————————————————————	

		事業の多	実施に対する町民ニーズ(はあるか	② 変わら	っずにある					
	妥当性	事業の優響は大き	廃止・休止による町民生 きいか	活への影	② 廃止・	休止による影響は小さいがある					
		今後も田	Tが実施すべき事業か		④ 町民生 能	活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可					
	効率性	事業費に	に削減の余地はないか		① ある						
	劝华注	関連・数	頁似事業との統合はでき;	ないか	③ 統合で	できない					
評価	有効性	事業の原	艾果は得られているか		② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である						
С С	有划注	事業の」 か	上位施策に向けた貢献度に	は大きい	② 事業の)方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある					
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	B. 負	担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担す べきものである					
k •		部評価等 指摘事項				_					
		z善経過 4 年間)	合。 【R03年度】	頃を20,000	融対策・生活資金預託事業、勤労者住宅・生活資金利子補給事業の3事業を統 000千円から10,000千円に引下げを行いつつ、要綱改正により貸付限度額の引						
	課	題	就労情報や勤労者支持 制度の周知及び融資タ			売・充実。 責極的な活用が図られるような対策が必要。					

	区分	改善	R03年度	改善改善	R02年度	改善改善	R01年度	改善								
今後の方 向性の判 断	理由				充実、制度の周	知や融資条件の)見直し等、積	極的な活用が								
		I														
課題解決に向けて	R04年度	近隣市町や中央労 る。	歯金庫と情報3	を換を行い、ど	ういった支援が	求められている	のか、把握す	ることに努め								
着手する 取組事項	R05年度	各支援策の利用実	8績等を基に、#	制度の取捨選択	や見直しを実施	する。										
R04年度改善事項 関係団体が発行するチラシやパンフレット等を、配架だけでなく町ホームページに掲載することで、より 多くの方に支援内容等の周知を図った。																
記入日 引き続き、支援や補助等を必要とする勤労者に対して、情報が行き渡るように周知に努める。																
令和5年	3月20日															
	向性の判 課題向手組 解けす事事 R04年度	今後の方 向性の判 断 理 由 R04年度 課題解決 に向けて 着手する 取組事項 R05年度	今後の方向性の判断理由就労情報や勤労者 就労情報や勤労者 図られるような対策R04年度 計画 R05年度る。近隣市町や中央労 る。R05年度各支援策の利用実R04年度改善事項 記入日場係団体が発行する 多くの方に支援 引き続き、支援や	中の地域 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中	中の 中の 一の 一の 一の 一の 一の 一の	日本 一	理由 就労情報や勤労者支援情報の提供などの継続・充実、制度の周知や融資条件の図られるような対策が必要である。	中の 一切 中の 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一								

第2号様式

予算事業名	農業	美総務	運営事	務事業	į							事業番号	04 -	13	-	02
細分事業名	_										シ	一ト作成日	令和	14年7	月19日	1
予算科目	会計	01	款	06	項	01	B	02	事業	02	事	業開始年度		_		
17 异 17 日	云山	U1	办人	00		O I	П	UZ	尹木	UZ	事業	事業終了予定年度 — —				
Ė	部 等 名 課 等 名												係名			
産	業環境	部						Ţ.	産業振興(系						

					柱	V	元気や	た活力が生まれるまちづく	(4)				
		総	Р		部 門	29	産業((農業・漁業・商工業)					
		合計	Г		大施策	Α	農業経	圣営基盤の強化					
		画	84		中施策	(1)	農業を	を支える基盤整備					
計				Ţ	施策目標	経営	基盤の	D支援と担い手の確保・育	育成を促進し、農	業を支える基盤整備に取り組みます。			
画	事		根拠	法令	・条例等				_				
P	業の		佢	國別計	·画等				_				
a	概要	行政	経営フ	゚゚ラン	実施計画事業	実施	潘号	_	実施項目名	-			
n)	^		(作	目 可のた	的 めに)	農業全	般の事	事務処理と備品、物品、マ	「動産等の維持管	理、農政協力員に関すること			
			(計	対 進を・	象 何を)	農政協力員、事務用品、公用車維持用品、東町倉庫維持管理							
				内	容			パイプ役である農政協力員 持管理、東町倉庫の維持管		協力依頼、取り纏めを依頼し、謝金を支払う			

			執行体制		一	部委託あり						
					単位	R01年度(決算)	RO:	2年度(決算)	R03年度(決算	見込) R04年	度 (予算)
		Ū	直接事業費	t (a)	千円	630)		592	583		667
			国庫	支出金								
		財	是 県	出金								
		源内	走	₫債	千円							
	重	訳	そ	の他		3			5	4		3
	事業費		一 舟	段財源		627	1		587	579		664
	費	職員人	人数 (概算	[職員数]	人	0. 3	5		0. 29	0. 30		0. 36
			人件費計	(b)	千円	2, 06	2		1, 713	1, 772		2, 095
		総	事業費(a) + (b)	千円	2, 69	2		2, 305	2, 355		2, 762
施 (D			R 04 年						円、自動車損害(43千円、公用車 8		目標	値
°)			が属する	総合計画の 果指標				新規参入			15件(54	
				指標名			単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	指		象指標 者数等)	農家世帯数	ά		戸	_	467	445	445	445
	標	活車	助指標	# = 1 =				計画値	960	956	956	956
	値	(活動量) 農家人口					人	実績値	956	956	_	_
		D. F.						目標値	29	29	29	29
			果指標 戊度等)	農政協力員	数		人	実績値	29	29	_	_
		(Æ):	心这 可/					達成率	100.0%	100.0%	_	_

農政協力員を通じ農業者へ情報提供等を行い経営安定へと寄与している。

定性的成果

		事業の実	『施に対する町民ニーズ	はあるか	② 変わら	っずにある				
	妥当性	事業の廃	隆止・休止による町民生 きいか	活への影	② 廃止・	休止による影響は小さいがある				
		今後も町	Jが実施すべき事業か		⑤ 代替と がある	なる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要				
	効率性	事業費に	こ削減の余地はないか		② ない					
	劝平正	関連・類	頁似事業との統合はでき	ないか	② 統合に	に向けた検討は可能				
評価	有効性	事業の成	対果は得られているか		② 成果に	は概ね出ているが、更なる努力は必要である				
(C	有劝压	事業の上か	- 位施策に向けた貢献度(は大きい	②事業の	O方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある				
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	B. 負	担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない				
k)		ト部評価等 5指摘事項			_					
		マ善経過 4 年間)				_				
	課	題				_				

		区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持			
	今後の方 向性の判 断	理由	農業従事者の高齢 との連携を強化し、			放棄地の増大と	いった課題解決	やの一環として、	、農政協力員			
改												
善 (A	課題解決に向けて	R04年度	農政協力員との連	携を深め、農業	業者に対する各	種支援情報の発	信を行う。					
c + - o n)	着手する 取組事項	R05年度	農政協力員との連	携を深め、農業	美者に対する各	種支援情報の発	信を行う。					
	R04年度改善事項 農政協力員と連携し農業者に対し情報の発信を行った。											
	記入日 令和5年3月20日											
	13 1 1 10 -	0,,12011										

予算事業名	農業	美振興	普及事	業								事業番号	04 - 13 - 03
細分事業名	_										シ	一ト作成日	令和4年7月19日
	会計	01	款	06	項	01	目	03	01	事	業開始年度	_	
17 异代日	云司	υı	示人	00	垬	01	Н	03	事業	01	事業	終了予定年度	_
部 等 名 課 等 名												係 名	
産	産業環境部産業観光課									産業振興係		産業振興係	

				柱	∨ 元気∜	o活力が生まれるまちづ	くり						
		総	Р	部門	29 産業	(農業・漁業・商工業)							
		合計	٢	大施策	A 農業紹	経営基盤の強化							
		画	84	中施策	(1)農業を	支える基盤整備							
		-		施策目標	経営基盤の)支援と担い手の確保・	育成を促進し、	農業を支える基盤整備に取り組みます。					
計画		根拠法令・条例等と機能を受ける。根拠法令・条例等とは、大磯町青果物価格安定対策補助金交付要綱ほか各要綱											
_	事業		個	國別計画等			_						
P	の概	行政	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号 — 実施項目名 —								
a n	要		(信	目 的 可のために)	農産物の普	予及推進、担い手育成の	ため						
		対象 (誰を・何を) 販売農家全般、新規就農者											
				内容	への講習会、経営村の利用促進、耕作が対策への補助(きら15%を補助する)④	目談、農地の賃借のあっせん)③湘 女棄地の再生利用、担い手の育成確 ゆうり、トマト、小松菜、ねぎ等の 大磯町特産物省令補助金(現在は3	南地域農業再生協議会へ 保などに関する取り組み 生産者に対して、国609 客葉果樹をせいさんする	要協議会負担金(平塚市、二宮町、大磯町、農協等と認定農業者 への参加(戸別所得補償制度の推進、戦略作物の生産振興、農地 みを1市2町と農業委員会、農協、県畜産会)、青果物価格安定 6、県20%、生産者20%の割合で基金をつくりその生産者負担額の 農家への補助を行う定額)⑤湘南二・ルド苗木購入補助金(苗木 用の1/3を補助する)⑦湘南農業への支援					

				執行体制		— ž	部委託あり							
			_			単位	R01年度(決算)	RC	2年度(決算)	R03年度(決算	[見込)	R04年	度(予算)
			直	直接事業費	(a)	千円	808			608	2, 977			3, 333
				国庫:	支出金		_			_	_			_
			財	県支	出金		144	i		144	144			144
			源内	起	2債	千円	-			_	_			-
	事		訳	そ	の他		55			_	_			40
	事業			一般	財源		609			464	2, 833		3, 149	
	費	稍		、数 (概算	10.0 4000	人	0. 67	7		0. 49	0. 30		0. 58	
				人件費計	(b)	千円	3, 94	6		2, 894	1, 772			3, 393
			総	事業費(a) + (b)	千円	4, 75	4		3, 502	4, 749			6, 726
実施(D			事業	費内訳(R 04 年		青果物価 大磯町農	格安定対策事業補助 業経営基盤強化補助	力金48千円 力金2, 230-]、大磯町特瓦 千円、果樹苗	い手育成総合支援協議会 物奨励補助金35千円、 木購入補助金19千円、農 55千円、湘南農業協同組	園芸廃棄物処理システム 業経営改善資金等利子	事業補助金91 補給事業費補原	千円、 助金5千円、	
0		本	本事業が属する総合計画の						指標	名		目標値		
Ü				施策の成果					新規参	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		15(牛(5 垒	手累計)
					指標名	標名			項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年 (予算		R07年度 (目標)
	指	(5		な指標 者数等)	販売農家数	τ		戸	-	131	131	13	1	131
	標		活重	助指標	37 中 典 李 4	<u>.</u>		ı	計画値	17	20	21		30
	値		活動指標 (活動量) 認定農業			I		人	実績値	21	21 20		-	_
									目標値	17	20	21		30
			成果指標 (達成度等) 認定農業者	ί		人	実績値	21	20	_	-	_		
			(上次区寸/						達成率	123. 5%	100.0%	_	-	_
		定性的成果 新規就農者が継続的に農業を行える体制を整えることで新たな認定農業者の創出に成功した。									- 0			

		事業の多	実施に対する町民ニーズはある	るか	② 変わら	ずにある			
	妥当性	事業の原	廃止・休止による町民生活へ(きいか	の影	③ 廃止・	休止による影響は大きくある			
		今後も田	丌が実施すべき事業か		⑤ 代替と 要がある	なる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必			
	効率性	事業費に	こ削減の余地はないか		① ある				
	劝华正	関連・数	領似事業との統合はできない。	か	② 統合に	向けた検討は可能			
評価	有効性	事業の原	成果は得られているか		② 成果は	t概ね出ているが、更なる努力は必要である			
回 (C	有划注	事業の」か	上位施策に向けた貢献度は大	きい	③ 事業の)方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か A	. 負	担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している			
k)		·部評価等 指摘事項				_			
	主な改 (過去	の実施。							
	課 題 活用度の低い補助金について内容や支援方法を含め見直しが必要。								

		区分	改善	R03年度	改善	R02年度	改善	R01年度	改善
	今後の方 向性の判 断	理由	新規就農希望者/ 低い補助金についる				り、担い手の確	雀保を図る。ま	た、活用度の
改善(Ac	課題解決に向けて	R04年度	販売農家が必要と	こしている支援	策の検討を行う	j.			
tion)	着手する 取組事項	R05年度	販売農家が必要と	こしている支援	策の検討を行う	; .			
	R04年度	改善事項	見直しを行い、ネ	捕助制度の活用	を推進した。				
		3月20日							

予算事業名	直引	· 所・	加工所	運営事	務事業	Ě						事業番号	04 -	1	3	-	04
細分事業名	_							シ	一ト作成日	令:	和4年	F7月	19日				
予算科目	会計 01 款 06 項 01 目 03 事業 0											業開始年度	_				
了 异 代日	云引	UI	水人	00	垻	01		03	尹未	03	事業	終了予定年度			_		
部 等 名 課 等 名										係名							
産	産業環境部産業観光課									産業振興係							

					柱	V	元気や	活力が生まれるまちづく	. 6						
		総	Р		部 門	29 д	産業((農業・漁業・商工業)							
		合計	Р		大施策	A 昂	農業経	営基盤の強化							
		画	84		中施策	(1)易	農業を	支える基盤整備							
計				ţ	施策目標	経営	基盤の)支援と担い手の確保・育	f成を促進し、農	業を支える基盤整備に取り組みます。					
画	事		根拠	法令・	• 条例等				_						
P	業の		佢	別計	画等		_								
a	概要	行政統	経営フ	゚ラン	実施計画事業	実施者	番号	_	実施項目名	_					
n)	^		(作	_	的 めに)			コエ所の維持管理や農産物 ・図る。更に、鮮度の良い		とにより、農業振興の一環として事業者の 地消に繋げる。					
			(計	対 Éを・	象 何を)	城山直売所、寺坂加工所									
				内	容	城山፤	直売所	「、寺坂加工所の維持管理	と町内農産物の	消費者への紹介					
Ī									_						

			執行体制		— <u>‡</u>	部委託あり											
					単位	R01年度((決算)	RO:	2年度(決算)	R03年度(決算	見込) RO	4年度(予算)					
			直接事業費	t (a)	千円	381			400	377		384					
				支出金													
		具源	県 見	と出金													
		Þ]	□債	千円												
	事	割		の他		80			80	139		79					
	事業費			设財源		301			320	238		305					
	費	職員	人数(概算	10.00 400.0	人	0. 2	_		0. 16	0. 25		0. 40					
			人件費計		千円	1, 47			945	1, 477		2, 360					
		í	総事業費(a) + (b)	千円	千円 1,854 1,345 1,854 2,744											
D o			業が属する					指標	名		目	標値					
\sim			中施策の成:	果指標				新規参入	.件数		15件(5年累計)					
				指標名	i		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)					
	指		象指標 象者数等)	販売農家数	ጀ		戸	_	131	131	131	131					
	指標	泪	動指標	参加農家数	.		戸	計画値	23	23	23	23					
	値	()	舌動量)	沙川 辰	x		_	実績値	19	18	_	_					
								目標値	150	150	150	150					
			成果指標 直接 (達成度等)	直売所開設日数	日	実績値	145	140	_	_							
		``~						達成率	96. 7%	93. 3%	_	_					
		定	生的成果						_								

		事業の実施	施に対する町民ニーズに	はあるか	② 変わら	ずにある			
	妥当性	事業の廃」響は大きり	止・休止による町民生? いか	舌への影	② 廃止・	休止による影響は小さいがある			
		今後も町だ	が実施すべき事業か		③ 国・県する必要	と・民間等でも同様の事業やサービス等を行っており、町で実施 性は低い			
	効率性	事業費に削	削減の余地はないか		① ある				
	劝华住	関連・類値	似事業との統合はできれ	ないか	② 統合に	向けた検討は可能			
評価	有効性	事業の成績	果は得られているか		② 成果は	一概ね出ているが、更なる努力は必要である			
三 (C	有刈庄	事業の上位か	位施策に向けた貢献度に	ま大きい	② 事業の)方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある			
h e c	公平性	受益者負担	担は公平・公正か	A. 負:	担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対 象等を再検討する必要がある			
k)		部評価等 指摘事項				_			
主な改善経過 (過去4年間) 直売所・加工所の利用方法の見直しについて利用団体との協議を実施									
	課 題 農業者団体の高齢化や組合員数の減少、町の公共施設等総合管理計画などを踏まえ、今後のあり方について利用実施団体との話し合いが必要である。								

		区分	改善	R03年度	改善改善	R02年度	 改善	R01年度	改善	
	今後の方 向性の判 断	理由	農業者団体の高齢 て利用団体との話し			共施設等総合管	理計画などを路	皆まえ、今後の	あり方につい	
改善(Ac	課題解決に向けて	R04年度	施設使用や運営に	こついて利用団体	本との協議を継	続して行う。				
tion)	着手する 取組事項	R05年度	施設使用や運営に	こついて利用団体	本との協議を継	続して行う。				
	R04年度改善事項 施設使用や運営について利用団体との協議を行った。									
		3月20日								

予算事業名	市戶	民農園	事業									事業番号	04 -	13	-	05
細分事業名	_										シ	一ト作成日	令和	04年7	月191	ш
予算科目	目 会計 01 款 06 項 01 目 03 事業 04										事	業開始年度	_			
了并行口	云山	U1	办人	00		O1	П	3	尹木	04	事業	終了予定年度		_		
部等名課等名									係名							
産	産業環境部産業観光課								産業振興係							

					柱	V 元気 ⁻¹	や活力が生まれるまちづく	(1)				
		総	Р	1	部門	29 産業	(農業・漁業・商工業)					
		合計	Р	,	大施策	A 農業網	経営基盤の強化					
		画	84	ı	中施策	(2)農地の	の有効活用の促進					
計				施	5 策目標	多様な農地	他の活用を図ることで、迫	箇正な農地の保全	・再生を図ります。			
画	事		根拠	法令・	条例等	特定農地質	賞付法、大磯町市民農園	事業実施要綱				
P	業の	個別計画等 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —										
a	概要	【 「一大」 「大政経営プラン」実施計画事業 実施番号 ― 実施項目名 ― 実施項目名										
n •	^	目 的										
			(計	対 第 進を・何		町民						
				内容			0区画(7,077㎡)①木ノ川(26区画、 有堀込(50区画、1,196㎡)⑥五反田ロ		区画、2,542㎡)③諏訪ノ下(20区画、686㎡)④西中道(53区			

					,										
			執行体制	<u> </u>											
					単位	R01年度(RO	2年度(決算)	R03年度(決算	見込) R04名	丰度(予算)			
		_	直接事業領	費(a)	千円	300)		345	337		342			
				支出金											
		貝	オー 県:	支出金											
		, 	为 ————————————————————————————————————	起債	千円										
	事	Ē	尺 そ	一の他		300)		345	337		342			
	事業費			般財源											
	費	職員	員人数(概算		人	0. 4	-		0. 41	0. 35		0. 42			
			人件費計	- (b)	千円	2, 76	8		2, 422	2, 067		2, 449			
		i	総事業費(a) + (b)	千円	千円 3,068 2,767 2,404 2,791									
実施(D			F業費内訳 R 04 4	丰度	消耗品	· 费64千円、手	=数料1 	71千円、月	月地借上料107千 	T	目標	医 佐			
0				総合計画の											
\sim			中施策の成	果指標				耕作放棄均	也面積		15.	0ha			
				指 標 名	i		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)			
	指		対象指標 象者数等)	町民(4月	1日時	持点)	人	I	31, 131	31, 096	31, 392	30, 484			
	標	;;	舌動指標	+	. .	- *L	i H	計画値	267	260	260	260			
	値		活動量)	市民農園部	直区世	型	区画	実績値	267	260	_	_			
		_	+ 田 +ヒ+亜					目標値	267	260	260	260			
			成果指標 達成度等)	貸付数	计数			実績値	248	258	_	_			
			,					達成率	92. 9%	99. 2%	_				
		定	性的成果	農地の荒	農地の荒廃防止と町民の余暇利用を推進することにより、農業への理解と農地保全を図る。										

		事業の多	ミ施に対する町民ニーズ!	はあるか	② 変わら	ずにある
	妥当性	事業の序響は大き	軽止・休止による町民生 きいか	活への影	② 廃止・	休止による影響は小さいがある
		今後も町	Tが実施すべき事業か		④ 町民生 能	活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可
	効率性	事業費に	こ削減の余地はないか		① ある	
	劝华庄	関連・数	類似事業との統合はでき れ	ないか	② 統合に	向けた検討は可能
評価	有効性	事業の原	対果は得られているか		② 成果は	概ね出ているが、更なる努力は必要である
(C	有刈圧	事業のよか	上位施策に向けた貢献度(は大きい	② 事業の)方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	A. 負	担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対 象等を再検討する必要がある
k)		▶部評価等 5指摘事項				R全の2つの要素がある。 C事業主体の見直しが必要である。
		双善経過 4 年間)	利用料金等の見直し。 利用状況の思わしくな			D着手。 (R2年度末をもって月京農園を閉鎖)。
	課	題	農園の維持管理を無理 市民農園に対する多様 ある。			付する必要がある。 こめ、農家や民間事業者による市民農園開設を促進する必要が ■

		区分	改善	R03年度	改善	R02年度	改善改善	R01年度	改善					
	今後の方 向性の判 断	理由	農園の維持管理を無理なく行える方策を検討する必要がある。 市民農園に対する多様なニーズに対応するため、農家や民間事業者による市民農園開設を促進する必要が ある。											
改善(Ac	課題解決に向けて	R04年度	農園の維持管理を 農家及び民間事業				報収集を行う。							
tion)	着手する 取組事項	R05年度	農家及び民間事業	者が開設するで	市民農園の普及 [・]	促進のため、体	制を整備する。							
	R04年度	改善事項	農家及び民間事業 ている農家への情報			進するため、情	報収集を行うと	こともに、新規に	開設を検討し					
	記》	入日												
	令和5年	3月20日												
									-					

予算事業名	農地	也活用	・鳥獣	対策事	業							事業番号	04 -	13	-	06
細分事業名	_										シ	一ト作成日	令和	14年7月	20日	
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業	06	事	業開始年度		_		
) // 14 []	An	01	4×	00	Ķ	01	Ι	00	于木	0	事業	終了予定年度		_		
±	部 等 名	1						課等	名				係 名			, and the second
産	業環境	部					Ē			Į.	全業振興 ⁽	系				

					柱	Ш	快適で	ごくらしやすいまちづくり	J/V 元気や活	力が生まれるまちづくり					
		総	Р		部門	15	自然環	環境・公園/29 産業(農	農業・漁業・商工	業)					
		合	-		大施策	Α	自然環	環境の保全・再生、A 農	農業経営基盤の強	化					
		計画	56		中施策	(1)	保全·	再生活動の推進/(2)	農地の有効活用	の促進					
計		1	84		施策目標			、の理解を促進するととも 2の活用を図ることで、過		環境と生態系の保全・再生を推進します。 :・再生を図ります。					
画	事		根拠	法令	・条例等	鳥獣に。	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律・大磯町農作物鳥獣被害対策補助交付金要綱・大磯町次世代育成等資金交付要継								
P	業 の		1	固別計	一画等	大磅	大磯町鳥獣被害防止計画								
a	概要	行政	経営フ	゚゚ラン	実施計画事業	実施	実施番号 — 実施項目名 — —								
n)	^		(作	目 可のた	的 :めに)		野生鳥獣による農業被害の軽減。 農地の持続的活用。								
			(計	対 進を・	象 何を)	農業	農業者、農地								
		①有害鳥獣捕獲(捕獲ワナの管理及び捕獲個体の処分を委託) ②鳥獣対策設置費補助金(農家の自衛策にかかる資材の助成) ③狩猟免許取得費補助金(自衛手段として農家の罠免許取得にかかる費用の助成) ④「人・農地ブラン」を作成し農地利用の将来像を明確化し、農地集積、新規参入を促進し、耕作放棄地の解消を図る。													

Г			執行体制	—	<u></u> 『委託あり				
				単位	R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(決算	見込) R04年度(予算	[)
		Ī	直接事業費(a)	千円	5, 489	5, 666	8, 562	10, 525	
			国庫支出金						
		財	県支出金		3, 831	2, 834	4, 219	4, 782	
		源内	起債	千円					
事		訳	その他		30				
業			一般財源		1, 628	2, 832	4, 343	5, 743	
費	聙	銭員ノ	人数(概算職員数)	人	1. 07	1. 07	0. 50	0. 68	
			人件費計(b)	千円	6, 302	6, 320	2, 954	4, 013	
		総	事業費 (a) + (b)	千円	11, 791	11, 986	11, 516	5 14, 538	
		事	業費内訳(千円) R 04 年度	人・農 農業次	F円、消耗品費100千円、月 地プラン策定業務支援委託 世代人材投資資金3,000千 許取得費補助金10千円、別	E料472千円、有害鳥獣対策 円、鳥獣対策設置費補助3	策協議会負担金40 金788千円、		
		車業	が属する総合計画の			指標名		目標値	

	本事業が属する	※会計画の			指標	<u></u> 名		目標	値			
	中施策の成果		有害	鳥獣被	害防止対策 耕作放棄 [‡]	活動の実施箇所数 地面積		2か所 15.0				
		指 標 名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)			
指	対象指標 (対象者数等)	農家世帯数		戸	I	467	445	445	445			
標	活動指標	叶 险	への助成件数	件	計画値	60	60	60	60			
値	(活動量)	以际侧改值	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	IT	実績値	22	26	1	_			
	子田长 梅				目標値	150	150	150	150			
	成果指標 (達成度等)	イノシシ捕	獲数	件	実績値	198	98	_	_			
					達成率	132. 0%	65. 3%	-	_			
	定性的成果	鳥獣被害	対策講習会の実施に	達成率 132.0% 65.3% — — — — — — — — — — — — — — — — 策講習会の実施により、自衛策が周知され、電気柵等の設置が図られた。								

		事業の多	実施に対する町民ニーズ(はあるか	③ 増大し	ている
	妥当性	事業の優響は大き	廃止・休止による町民生 きいか	活への影	③ 廃止・	休止による影響は大きくある
		今後も田	Tが実施すべき事業か		④ 町民生 能	活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可
	効率性	事業費に	こ削減の余地はないか		① ある	
	劝华注	関連・数	頁似事業との統合はでき	ないか	③ 統合で	きさない
評価	有効性	事業の原	対果は得られているか		② 成果は	概ね出ているが、更なる努力は必要である
(C	有	事業の」 か	上位施策に向けた貢献度に	は大きい	② 事業の)方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	B. 負	担未導入	B-① 今は受益者負担を求めていないが、今後、負担の導入を検討する必要がある
k)		·部評価等 ·指摘事項				_
		z善経過 4 年間)	鳥獣害対策の知識・技術	析の普及を 住民主体	図った。 ・地域 <i>ぐ</i> る∂	c。また、地域ごとに講習会を実施し、地域の特性に合わせて かの鳥獣害対策の先進地域からノウハウを導入するために包括
	課	題]することで、餌場をなくし、棲みにくい環境をつくることが 有害鳥獣捕獲についても住民主体の体制への転換が必要。

		豆 八	小羊	D02左连	7 . ¥	D00左连	7t.¥	D01左车	74. ❤			
		区 分	改善	R03年度	改善	R02年度	改善	R01年度	改善			
	今後の方 向性の判 断	理由	住民主体・地域ぐ 住民主体の有害鳥				る。					
			l									
改善(Ac	課題解決に向けて	R04年度	住民主体・地域く 備に向けた試行を行		対策の先進地域	からノウハウを	導入し、住民主	三体の有害鳥獣打	甫獲の体制整			
tion)	着手する 取組事項	R05年度	住民主体・地域く 備に向けた試行を行		対策の先進地域	からノウハウを	導入し、住民主	三体の有害鳥獣打	甫獲の体制整			
	R04年度改善事項 住民主体・地域ぐるみの鳥獣害対策の先進地域との連携に向けた協議を行った。また、連携の一環として鳥獣害対策講習会を実施した。											
	記》	入日										
	令和5年	3月20日										

予算事業名	畜產	E振興	事業									事業番号	04 -	13 –	07
細分事業名	_										シ	一ト作成日	令和44	年7月20日	
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	04	事業	01	事	業開始年度		_	
J ² 并 1	云山	V1	办人	00		O1	П	04	尹木	5	事業	終了予定年度		_	
<u> </u>	部等名	3						課等	名				係 名		
産	業環境	部					Ē	産業観			Ē	産業振興係			

				柱	∨ 元気や	活力が生まれるまちづく	()						
		総	Р	部門	29 産業 (農業・漁業・商工業)							
		合計	F	大施策	A 農業経	営基盤の強化							
		画	84	中施策	(1)農業を	支える基盤整備							
計				施策目標	経営基盤の	経営基盤の支援と担い手の確保・育成を促進し、農業を支える基盤整備に取り組みます。							
画	事		根拠	法令・条例等		_							
P	業の		1	固別計画等			_						
a	概要	行政	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号	実施番号 — 実施項目名 — —							
n)	~		(1i	目 的 可のために)	乳牛の健全な飼養及び良好な飼養環境形成を図る								
			(書	対 象 進を・何を)	畜産農家								
		内 容 関係機関との連携を図り、環境対策のための指導、乳牛育成巡回指導、家畜防疫対策、改良、 育成預託事業の支援、畜産会への補助金支給											

			執行体制	職員	真実施			
				単位	R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(決算	見込) R04年度(予算)
	Γ		直接事業費(a)	千円	493	359	173	336
			国庫支出金					
			財 県支出金					
			起債	千円				
事	ī.		訳その他					
業	<u> </u>		一般財源		493	359	173	336
費	ŧ	職.	員人数(概算職員数)	人	0. 35	0. 31	0. 35	0. 41
			人件費計(b)	千円	1, 141	1, 831	2, 067	2, 390
			総事業費 (a) + (b)	千円	1, 634	2, 190	2, 240	2, 726
実施 へ		į	事業質内訳(十円) P.O/I 在由	種畜改	為費14千円、家畜防疫対抗 及良凍結精液利用事業費 所成預託事業費補助金13	補助金25千円、		
) <u> </u>	T.	+ =	業が属する総合計画の			指標名		

? 🗏	本事業が属する	総合計画の			指標	名		目標	値
	中施策の成				新規参入	.件数		15件(5至	F 累計)
		指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
指	対象指標 (対象者数等)	大磯町畜産	会員数	戸	_	4	3	2	3
指標值	活動指標	補助件数		件	計画値	4	4	2	4
値	(活動量)	洲山川致		П	実績値	3	1	1	_
	+ 田 - 比 - 抽				目標値	4	4	2	4
	成果指標 (達成度等)	補助件数		件	実績値	3	1	_	_
					達成率	75. 0%	25. 0%	_	_
	定性的成果	畜産農家 持に寄与し	の減少が進む中、既 ている。	存畜產	産農家の経	営安定を補助金領	等での支援を行う	うことで、町内の	畜産業の維

		事業の実	ミ施に対する町民ニーズ(よあるか	① 減少し	している				
	妥当性	事業の序響は大き	隆止・休止による町民生 いか	舌への影	② 廃止・	休止による影響は小さいがある				
		今後も町	Tが実施すべき事業か		⑤ 代替と がある	なる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要				
	効率性	事業費に	こ削減の余地はないか		① ある					
	劝华住	関連・判	頁似事業との統合はでき?	ないか	② 統合に向けた検討は可能					
評価	有効性	事業の成	 は果は得られているか		② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である					
(C	有	事業の上か	上位施策に向けた貢献度(は大きい	② 事業の)方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある				
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	B. 負	担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである				
k)		ト部評価等 5指摘事項				_				
		x善経過 4 年間)	補助制度の改正							
	課	題	畜産農家戸数の現状を 度の検討が必要である。		ための支援を	を行うとともに、畜産業への新規参入についての相談体制や制				

		区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持
	今後の方 向性の判 断	理由	畜産農家戸数の現 度の検討が必要であ		こめの支援を行	うとともに、畜	産業への新規参	∳入についてのホ	目談体制や制
改善(Ac	課題解決に向けて	R04年度	関係機関等と連携し	、広域での情幸	最交換や情報収 :	集を行い、畜産	農家の経営支持	爰を継続してい	< ∘
0 t - 0 n)	着手する 取組事項	R05年度	関係機関等と連携し	、広域での情幸	役交換や情報収 ∶	集を行い、畜産	農家の経営支持	爰を継続してい.	< ∘
	R04年度	改善事項	関係機関と連携し	、畜産農家の約	圣営基盤の安定	に向けた支援を	行った。		
	記》	入日							
	令和5年	3月20日							

予算事業名	農業	業用水.	路等維	持管理	事業							事業番号	04 -	13	3	-	08
細分事業名	_										シ	一卜作成日	令和	04年	7月	20日	
予算科目	会計	01	款	06	項	01	B	05	事業	02	事	業開始年度		-	_		
了另行口	五山	O1	水人	00		O I	П	03	尹木	UZ	事業	終了予定年度		-	_		
台	事名	ጀ						課等	名				係 名				
	業環境	部					ß	産業観	光課			Ē	奎業振興	係			

				柱	∨ 元気∜	b活力が生まれるまちづく	. 6						
		総	Р	部門	29 産業	(農業・漁業・商工業)							
		合計	Г	大施策	A 農業網	Y 営基盤の強化							
		画	84	中施策	(1)農業を)農業を支える基盤整備							
計				施策目標	各地域の地	地域の地形などに応じた営農類型の指導を行い、重点作物の調査選定を行います。							
画	事業		根拠	法令・条例等			_						
P	業の		佢	11別計画等			_						
a	概要	行政統	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号	_	実施項目名	_					
n)	Λ .		(作	目 的 可のために)	農業用水路	外の維持管理を行う							
			(計	対 象 進を・何を)	農業用水路	8利用者							
				内容	農業用水路の維持管理を行う								

			執行体制		1	邪委託あり						
		l	₹X1 J 1本市リ		単位	PS記めり R01年度(油質)	PO'	2年度(決算)	R03年度(決算	E 23.) PO4	年度 (予算)
			直接事業費	₹ (a)	千円	639		1102	2. 924	648	元区) 104	282
		lг		支出金	111	000			2, 324	040		202
		貝		5出金					1. 500			
		l i	原	2 <u>出业</u> 2債	千円				1,000			
		P	۸	<u>= ス</u> の他								
	事業	"		少月 <u>。</u> 少財源	-	639)		1. 424	648		282
	事業費	職員		職員数)	人	0. 20	6		0. 23	0. 45		0. 34
	,		人件費計	(b)	千円	1, 84	8		1, 359	2, 658		1, 977
		i	総事業費(a) + (b)	千円	2, 48	37		4, 283	3, 306		2, 259
D •			業が属する。					指標			日	
\smile			1 115 × 071%.					並担会 1				漂値
								新規参入	.件数	D00	15件(5	年累計)
				指標名			単位	新規参入 項 目		R03年度 (決算見込)		
	指		対象指標 象者数等)				単位		.件数 R02年度		15件(5 R04年度	年累計) R07年度
	指標	(対	象者数等)	指標名	Ż		戸		件数 R02年度 (決算)	(決算見込)	15件(5 R04年度 (予算)	年累計) R07年度 (目標)
	指標値	(対		指標名	Ż		. –	項目	.件数 R02年度 (決算) 467	(決算見込) 445	15件(5 R04年度 (予算) 445	年累計) R07年度 (目標) 445
	指標値	(対 (象者数等) 括動指標 活動量)	指標名	Ż		戸	項目	件数 R02年度 (決算) 467	(決算見込) 445 2	15件(5 R04年度 (予算) 445	年累計) R07年度 (目標) 445
	指標値	(対 ((象者数等) 「動指標」 活動量) 「大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	指標名	· 女 数		戸	項目 計画値 実績値	件数 R02年度 (決算) 467 2 2	(決算見込) 445 2 3	15件(5 R04年度 (予算) 445 2 —	年累計) R07年度 (目標) 445 2 ——
	指標値	(対 ((象者数等) 括動指標 活動量)	指標名 農家世帯数 修繕発注件	· 女 数		戸件	項 目	件数 R02年度 (決算) 467 2 2 2	(決算見込) 445 2 3 2	15件(5 R04年度 (予算) 445 2 — 2	年累計) R07年度 (目標) 445 2 — 2

		事業の実	実施に対する町民ニーズ	はあるか	② 変わら	っずにある				
	妥当性	事業の序響は大き	隆止・休止による町民生 きいか	活への影	③ 廃止・	休止による影響は大きくある				
		今後も町	Tが実施すべき事業か		⑤ 代替と がある	なる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要				
	効率性	事業費に	に削減の余地はないか		② ない					
	劝平正	関連・類	頂似事業との統合はでき	ないか	② 統合に	に向けた検討は可能				
評価	有効性	事業の成	 伐果は得られているか		② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である					
(C	有 <i>加</i> 正	事業の上か	上位施策に向けた貢献度に	は大きい	② 事業の)方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある				
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	B. 負	担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担す べきものである				
k)		·部評価等 ·指摘事項				_				
		z善経過 4 年間)				_				
	課	題	全体的に農業用水路や る。	や農道等の	老朽化による	る損傷が進んでいるため、計画的な補修工事の検討が必要であ				

		区分	維持	R03年度	維持	R02年度	改善改善	R01年度	改善
	今後の方 向性の判 断	理由	全体的に農業用水 た中で、計画的な補 となってきている。						
改善(▲		R04年度	農業水利施設の維 に基づいて優先順位				な対応の整理や	ち、農業振興地:	域整備計画等
Action	課題解決 に向けする 取組事項	R05年度	農業水利施設の維 に基づいて優先順位				な対応の整理や	ち、農業振興地	域整備計画等
 	R04年度	改善事項							
	,,,,,	3月20日	農業水利施設につ	いて、緊急性を	を要するものの	修繕を実施した	•		

第2号様式

予算事業名	林業	美振興	事業									事業番号	04 -	1	3	-	09
細分事業名	_										シ	一ト作成日	令	和4年	F7月	20日	
予算科目	会計	01	款	06	項	02	目	01	事業	01	事	業開始年度	ম	7成3	31年	4月	
了并行口	云山	O1	办人	00		UZ	П	O1	尹木	O1	事業	終了予定年度			_		
台	部等名	3						課等	名				係 名				
産業	業環境	部					Ē	産業観	見光課			Ē	産業振興	係			

				柱	Ⅲ 快適で	くらしやすいまちづくり	J							
		総	Р	部門	15 自然環	境・公園								
		合計	Р	大施策	A 自然環	境の保全・再生								
		画	56	中施策	(1) 保全・	再生活動の推進								
計				施策目標	自然環境へ	然環境への理解を促進するとともに、豊かな自然環境と生態系の保全・再生を推進します。								
画	事		根拠	法令・条例等	森林法、森	林経営管理法								
P	業の		1	固別計画等	大磯町森林	整備計画								
а	概要	行政	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号	_	実施項目名	_						
n)	\		(1i	目 的 可のために)	町内森林の	活用と保全								
			(書	対 象 進を・何を)	林業の担い	手、森林								
				内 容	森林の活用と保全を行う林業の担い手育成にかかる研修。森林所有者意向調査。森林所有者と 林業の担い手のマッチング。林地台帳システムの運用。									

			執行体制		— <u></u>	部委託あり							
					単位	R01年度(決算)	RO	2年度(決算)	R03年度(決算	見込) R044	年度(予算)	
		Ī	直接事業費	₹ (a)	千円	2, 01	6		2, 085	2, 932		4, 321	
			国庫	支出金									
		財源		出金						2, 104		2, 086	
		内		≧債	千円								
	事	訳		の他					128	120		841	
	事業費			设財源		2, 01			1, 957	708		1, 394	
	費	職員.	人数(概算		人	0. 40	-		0. 51	0. 25		0. 37	
			人件費計		千円	2, 35			3, 013	1, 477		2, 154	
		総	総事業費 (a) + (b)		千円	-円 4, 372 5, 098 4, 409 6, 475							
実施(D			業費内訳 (R 04 年	· 	林地台		宋守業 和			意向調査業務委	託料3,190千円、 		
0			が属する	総合計画の 果指標		有害息	鳥獣被		<mark></mark> 活動の実施箇所	数		所以上 「以上	
				指標名			単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)	
	指		象指標 (者数等)	地域森林計	画対象	民有林面積	ha	I	489	489	489	489	
	標値	活動	動指標	++ ** Ⅲ 收字	佐口米	+		計画値	6	6	4	4	
	値	(活	動量)	林業研修実	:他口贺	X	日	実績値	6	6	_		
		_+;	成果指標					目標値	_	_	_	_	
			^{未拍信} 龙度等)		_		-	実績値	_	_	_	_	
								達成率	_	_	_	_	

令和2年度・令和3年度は、自伐型林業スキルアップ゚研修を実施し、自伐型林業の担い手育成を進めた。

定性的成果

		事業の実	ミ施に対する町民ニーズ(はあるか	③ 増大し	ている				
	妥当性	事業の序響は大き	軽止・休止による町民生 きいか	活への影	② 廃止・	休止による影響は小さいがある				
		今後も町	Tが実施すべき事業か		⑤ 代替と がある	: なる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要				
	効率性	事業費に	こ削減の余地はないか		② ない					
	劝华庄	関連・類	頁似事業との統合はでき	ないか	③ 統合で	きさない				
評価	有効性	事業の原	 伐果は得られているか		② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である					
Ĉ	円が圧	事業の」 か	上位施策に向けた貢献度(は大きい	③ 事業の	O方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している				
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	A. 負	担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している				
k)		·部評価等 。指摘事項				_				
		z善経過 4 年間)				_				
	課	題				Fを引き続き育成するとともに、森林所有者による利用意向の 内森林の活用と保全を促進する。				

	区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持				
今後の方 向性の判 断	理由	理 由 自伐型林業研修で育成してきた林業の担い手を引き続き育成するとともに、森林所有者による利用意向の無い森林と担い手とのマッチングを行い、町内森林の活用と保全を促進する必要がある。										
課題解決に向けて	R04年度											
着手する 取組事項	R05年度	森林所有者の意向	調査を実施し、	森林所有者と	林業の担い手と	のマッチングを	F図る。					
R04年度	大材育成の取り組みとして、林業の基本的な技術を習得した人材の更なるスキルアップを図るため、森林 環境の保全に寄与できる知識と技術を習得するための「森林環境保全研修」を実施した。また、森林所有者 の章向調査に向けた進備作業を行った。											
		の息 印刷車 〜 円17 /2 	午岬〒未で打つ	ノに。 								
	向性の判 課題解けする項 R04年度	今後の方 向性の判 断 理 由 R04年度 課題解決 に向けて 着手する 取組事項	中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の	中の地域 中の地域 中の地域 中の地域 中の地域 中の地域 中の地域 中のでは、	中の地域 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	中国	中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国				

予算事業名	漁業振興運営事業											事業番号	04 - 13 - 11
細分事業名	_										シ	一卜作成日	令和4年7月20日
予算科目	会計	01	款	06	項	03	目	01	事業	01	事	業開始年度	_
7 并行口	五司	Οī	水人	00		03	П	O1	尹木	O1	事業	終了予定年度	_
台	部 等 名	1			課 等 名						係名		
産業	産業環境部							産業観	光課		産業振興係		

				柱	∨ 元気	や活力が生まれるまちづく	(I)							
		総	Р	部門	29 産業	(農業・漁業・商工業)								
		合	Г	大施策	B 漁業	経営基盤の強化								
		計画	84	中施策	(1)漁業	を支える基盤整備/(2)	水産資源の確保	1						
計		囙	04	施策目標		且合を支援し、若手漁業者の リ・育てる」漁業の推進を図		、経営基盤の整備を進めます。/稚魚の放流を通 めざします。						
画	事業		根拠	法令・条例等		-								
P	の		1	固別計画等		_								
a n	概要	行政	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号	実施番号 — 実施項目名 —								
··			(作	目 的 可のために)	漁業振興を図ることと大磯で水揚げされた水産物の消費の拡大									
			(計	対 象 進を・何を)	漁業者									
				内容		継続的に事業を行えるよ [・] 動支援を行う。	 う利子補給等の補	助を行う。						
								_						

ı							· ·							
				執行体制			員実施				_			
						単位	R01年度(決算)	RO	2年度(決算)	R03年度(決算	見込) R04	1年度(予算)	
			直	接事業費	(a)	千円	494	•		490	569	604		
				国庫:	支出金									
			財	果支	出金									
			源内	起	₫債	千円								
	事		訳	そ	の他									
	事業費			一般	段財源	494				490	569		604	
	費	職	員人	、数(概算	[職員数)	人	0. 17	7		0. 23	0. 30		0. 36	
		人件費計(b)				千円	1, 00	1		1, 359	1, 772		2, 095	
			総事業費 (a) + (b)				1, 49	95 1, 849			2, 341		2, 699	
実施(事業	費内訳(R 04 年		相模湾地 漁業共済		議会負担:	金15千円、県水 北化資金等利子	担金35千円、 産促進協議会負担金157 補給事業費負担金22千円				
D		木耳	= *	が届せる約	総合計画の				指標	各		目	標値	
(0		本当		施策の成績				ž	魚業協同組 年間漁狗				0者 45t	
		指標			指標名			単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)	
	指	対象指標 (対象者数等) 漁業者				人		44	47	47	46			
	111								- 1 1	4.45	4.45	4.45	4.45	

	本事業が属する紀年の成果				50者 445t				
		指標名		単位	年間漁獲項 目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
指	対象指標 (対象者数等)	漁業者		人	I	44	47	47	46
指標値	活動指標	大磯二宮漁	協の組合員による定置	t	計画値	445	445	445	445
値	(活動量)	網漁獲量(1~12月)	J	実績値	466	(集計中)		_
	* B * #	1 =0	+ - 45 4 5		目標値	445	445	445	445
	成果指標 (達成度等)	大磯二宮漁 網漁獲量(劦の組合員による定置 1 ∼12月)	t	実績値	466	(集計中)		_
	(2)				達成率	104. 7%	_	_	_
	定性的成果					_			

		事業の実	実施に対する町民ニーズ(はあるか	② 変わら	っずにある
	妥当性	事業の序響は大き	廃止・休止による町民生 きいか	活への影	② 廃止・	休止による影響は小さいがある
		今後も田	Tが実施すべき事業か		⑤ 代替と がある	: なる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要
	効率性	事業費に	こ削減の余地はないか		② ない	
	劝平正	関連・類	頁似事業との統合はでき?	ないか	③ 統合で	きさない
評価	有効性	事業の原	 伐果は得られているか		② 成果は	は概ね出ているが、更なる努力は必要である
三 (C	有刈庄	事業の」か	上位施策に向けた貢献度に	は大きい	② 事業の)方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	B. 負	担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担す べきものである
k)		·部評価等 ·指摘事項				_
		z善経過 4 年間)	【令和3年度】 現状に合った支援を行	ううため、	漁業協同組名	合への補助金の見直しを行った。
	課	題	大磯港賑わい交流施記 付加価値化、漁獲量拡力			協同組合、関係機関等と連携によって、流通・販路の拡大、高

		区分	改善	R03年度	改善	R02年度	改善改善	R01年度	改善				
	今後の方 向性の判 断	理由	大磯港賑わい交流施設の指定管理者と漁業協同組合、関係機関等と連携によって、流通・販路の拡大、高付加価値化、漁獲量拡大を図る必要がある。										
改善(Ac	課題解決に向けて	R04年度	漁業者及び漁業協	5同組合に対し、	流通・販路の	拡大、高付加価	値化、漁獲量拡	太大の支援を行	ð.				
tion)	着手する 取組事項	R05年度	漁業者及び漁業協	局組合に対し、	流通・販路の	拡大、高付加価	値化、漁獲量拡	太大の支援を行	う 。				
	R04年度	改善事項	流通・販路の拡大 た。また、漁業協同 た。										
		3月20日	/_ o										

予算事業名	商コ	工業振	興対策	事業							事業番号	04 -	13	-	12	
細分事業名	_										シ	一卜作成日	令和	04年7	月20日	1
予算科目	会計	01	款	07	項	01	目	02	事業	01	事	業開始年度	2	₹成304	年度	
) Ji 17 D	五司	U1	办人	07		U1	П	UZ	尹木	5	事業	終了予定年度		_		
Ė	部等名	3				課等名						係 名				
産		産業観光課						産業振興係								

				柱	Ⅴ 元気や	活力が生まれるまちづく	()							
		総	Р	部門	29 産業	(農業・漁業・商工業)								
		合計	P	大施策	C 商工業	経営環境の安定化								
		画	84	中施策	(1)活力を	生む経営基盤の強化								
計				施策目標	商工業者の	経営基盤の強化、経営の	安定化を支援しま	す。						
画	事		根拠	法令・条例等	商工会法/	′中小企業金融対策資金和	引子補給要綱 他	2/中小企業金融対策預託要綱						
P	業の		1	固別計画等			_							
a	概要	行政:	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号	実施項目名 — 実施項目名 —								
n)	^		(1i	目 的 可のために)	中小企業の)経営の健全化及び経営基	基盤の強化等、商	i工業の活性化を支援する						
			対 象 (誰を・何を) 町内で事業を営む商工業者、中小企業者及び従業員											
		商工会法に基づき設立された大磯町商工会の事業補助 内容 融資にかかる保証料補助、借入金から発生する利息補給、退職金共済掛金の補助 他 制度資金の円滑な融資のため、取扱金融機関(中南信用金庫、横浜銀行)に資金を預託												

ſ				+h /二 /十 /+ II									
ŀ	T			執行体制	3X /T	D01左左 (法签)	D00左左(法签)	D00左左 / 法签5	311 D04左左 (又答)				
	ŀ		_		単位	R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(決算月					
			Ī	直接事業費(a)	千円	25, 886	141, 506	37, 427	27, 863				
			国庫支出金					11, 930					
			財県支出金			11	2						
			源	起債	千円								
	事		訳	その他		17, 000	17, 002	17, 001	17, 000				
	業			一般財源		8, 875	124, 502	8, 496	10, 863				
	費	ಾ	員,	人数(概算職員数)	人	0. 36	0. 34	0. 40	0. 32				
				人件費計(b)	千円	2, 120	2, 008	2, 363	1, 859				
			総	事業費 (a) + (b)	千円	28, 006	143, 514	39, 790	29, 722				
起布			事業	業費内訳(千円) R 04 年度	中小企業 小規模事	m商工会事業補助金6,200千円、中小企業信用保証料補助金1,620千円、中小企業金融対策資金利子補給補助金952千円、中小企業退職金共済制度奨励補助金641千円、創業者支援利子補給補助金200千円、小規模事業者経営改善資金利子補給補助金750千円、小規模事業者販路開拓支援補助金500千円、中小企業金融対策資金預託金17,000千円							
) i					I		比冊点		口無法				

` L											
<u> </u>		本事業が属する網	総合計画の			指標	名		目標	値	
-		中施策の成			金融	対策支援融	 資利用件数		18件		
			指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)	
‡	岩	対象指標 (対象者数等)		I入事業所数 :実態調査)	所	1	609	612	612	615	
į	指票	活動指標		:融対策融資利用件	件	計画値	18	18	18	18	
1	直	(活動量)	数			実績値	10	5		-	
		+ 田 - 上 - 西	+ ** /			目標値	18	18	18	18	
		成果指標 (達成度等)	中小企業領	d融対策融資利用件 数	件	実績値	10	5	_		
						達成率	55. 6%	27. 8%	_	-	
定性的成果 中小企業の経営の健全化及び経営基盤の強化等、商工業の活性化に寄与している。											

		事業の実施に対する町民ニーズはあるか ② 変わらずにある
	妥当性	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きくある。 響は大きいか。
		今後も町が実施すべき事業か ④ 町民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
	効率性	事業費に削減の余地はないか ① ある
	劝华注	関連・類似事業との統合はできないか ② 統合に向けた検討は可能
評価	有効性	事業の成果は得られているか ② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
(C	有刈庄	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい か ② 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある
h e c	公平性	受益者負担は公平・公正かA. 負担導入済B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである
k)	過去の外における	
		善経過 商工業振興推進事業、中小企業金融対策資金預託事業、商工業活性化対策事業の3事業について、平成30年間) 年度に「商工業振興対策事業」として統合
	課	題 補助等が主な取り組みであり、制度の周知や貸付利率の見直しなど、積極的な活用が図られるような対策 が必要である。

		区分	改善	R03年度	 改善	R02年度	 改善	R01年度	改善
	今後の方 向性の判 断	理 由	補助等が主な取り が必要である。	組みであり、制	削度の周知や貸	付利率の見直し	など、積極的な	お活用が図られ	るような対策
改善(Ac	課題解決に向けて	R04年度	引き続き、支援策 策を展開する体制と ながら、商工業者の	して「大磯らし	い潤いづくり	協議会」が設置			
0 t - 0 n)	着手する 取組事項 引き続き、支援策の積極的な活用が図られるよう、周知を行うとともに、観光及び産業振興等に関する 策を展開する体制として「大磯らしい潤いづくり協議会」が設置されたことから、この協議会と連携を図 ながら、商工業者の持続可能な発展を支援していく。								
	R04年度	改善事項	新型コロナウイル ている町内の小規模	事業者等に対し	って、その事業	活動の継続を支	援するため、ナ		
	記》	入日	支援金を交付した。	りさ続き商工業	食者のニーズに	台つた文援策を	検討する。		
	令和5年	3月20日							

第2号様式

予算事業名	観光	七振興	対策事	業								事業番号	04 -	13	-	13
細分事業名	_										シ	一卜作成日	令和	14年7	月20日	
予算科目	会計	01	款	07	項	01	目	03	事業	01	事	業開始年度	_			
了并行口	云山	U1	办人	07		O I	П	03	尹木	O1	事業	終了予定年度	_			
台	部 等 名 課 等 名												係 名			
産	産業環境部産業観光課											1	覗光推進 (系		

				柱	V 元気や活力が生まれるまちづくり								
		総	Р	部門	31 観光								
		合計	Г	大施策	A 持続可能な連携と活力の創出								
		画	88	中施策	(2) 計画的な観光の振興/(3)元気が出る経営環境の創出								
計				施策目標	通年誘客及び地域経済の形成に向けて「大磯らしい潤いづくり」を促進します。/地域特性を生かした働く場や活力の創出を支	援します。							
画	事		根拠	法令・条例等	-								
P	業の		個	別計画等	大磯らしい潤いづくり計画								
a	概要	行政	経営プ	プラン 実施計画事業	実施番号 — 実施項目名 —								
n)	`		(乍	目 的]のために)	観光を「きっかけ」とした消費行動へとつながる機会や場を創出する								
			(計	対 象 Éを・何を)	町民及び町外者								
		県観光協会及び町観光協会、大磯らしい潤いづくり協議会が展開する誘客事業への支援 周辺自治体との連携による誘客活動の実施と観光案内所の管理 大磯らしい潤いづくり計画の策定及び進行管理											

			\$	執行体制		<u>—</u> ‡	部委託あり							
						単位	R01年度(決算)	RO.	2年度(決算)	R03年度(決算	見込)	R04年	度 (予算)
			直	接事業費	(a)	千円	20, 44	48		12, 094	11, 470)		16, 546
				国庫:	支出金									
]	財	支県	出金		1, 91	4		750				
		;	源内	起	≧債	千円								
	重	訳その他			の他									800
	事業費	一般財源			段財源	18, 534				11, 344	11, 470		15, 746	
	費	職員人数(概算職員数)			[職員数)	人	0. 42	2		0. 61	1. 20		1.06	
		人件費計 (b)			(b)	千円	2, 47	4		3, 603	7, 088			6, 255
			総事	業費(a) + (b)	千円	22, 92	22		15, 697	18, 558	3		22, 801
実施(Ē		費内訳(R 04 年		自動車 湘南地	通行料27千円]、県観 3議会負	光協会負 担金145-	担金30千円、県 千円、町観光協会	千円、管理委託料 観光振興対策協議 事業補助金10,0	義会負担金		l.
D		本事業が属する総合計画の			総合計画の				指標:	名			目標	値
)		-17-3-	中施策の成果指標						繁閑差 町内事業				50% រ 1, 259	
		指標名			指標名			単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年 (予算		R07年度 (目標)
		対象指標				/ = \= £	7 . I W			455	0.40	4 04		4 000

対象指標 (対象者数等) 455 観光客数(入込観光客数) 649 1,000 1,000 千人 指標: 計画値 15, 904 14,860 16, 546 活動指標 事業費 千円 値 (活動量) 実績値 12, 094 11, 470 目標値 成果指標 繁閑差率 % 実績値 (達成度等) 達成率 定性的成果 地域資源を活用し、観光を「きっかけ」とした消費行動へとつながる機会や場を創出している

		事業の多	実施に対する町民ニーズ(はあるか	② 変わら	ずにある
	妥当性	事業の優響は大き	廃止・休止による町民生 きいか	活への影	③ 廃止・	休止による影響は大きくある
		今後も田	∏が実施すべき事業か		④ 町民生 能	活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可
	効率性	事業費に	に削減の余地はないか		① ある	
	劝华注	関連・数	頁似事業との統合はでき	ないか	② 統合に	こ向けた検討は可能
評価	有効性	事業の原	艾果は得られているか		② 成果は	に概ね出ているが、更なる努力は必要である である
三 (C	有刈庄	事業の」 か	上位施策に向けた貢献度に	は大きい	② 事業の)方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	B. 負	担未導入	B-① 今は受益者負担を求めていないが、今後、負担の導入を検討する必要がある
k)		·部評価等 ·指摘事項				_
主な改善経過 (過去4年間) 「大磯らしい潤いづくり計画」計画期間の開始 町内に賑わいを生み出す「大磯らしい潤いづくり事業」に着手						
	課	題				言の脆弱性、事業のマンネリ化などが顕在。時代のニーズに ごと連携した中で、さらに進めていく必要がある。

	区分	拡充	R03年度	拡充	R02年度	改善改善	R01年度	改善
今後の方 向性の判 断	理由							
課題解決に向けて	R04年度					けた総合調整や	^b 団体への支援	を継続すると
着手する 取組事項	着手する							
R04年度	改善事項	と連携を図りながら	、令和4年に初	刃開催の大磯ま				
記。	入日	らしい润いつくり事 	+耒)の文援を輸	迷続する。				
令和5年	3月20日							
	向性の判 課題向手組 解けす事事 RO4年度	今後の方 向性の判 断 理 由 R04年度 課題解決 に向けて 着手する 取組事項	中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の	中の	中	中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国	中の地断 理由 令和3年度から始動の「大磯らしい潤いづくり計画」に基づき、商工会や観光を図りながら、町内に賑わい(地域経済循環)を生み出す様々な取組みに着手する。 では、新たに大磯らしい風物詩となるような事業を展開する。 では、新たに大磯らしい風かづくり事業)のを生み出す様々な取組み(大磯らしい潤いづくり事業)のを生み出す様々な取組み(大磯らしい潤いづくり事業)の支援を継続する。 では、新工会や観光協会、では、新たに大磯らしい潤いづくり事業)の支援を継続する。 では、新工会や観光協会、では、大磯らしい潤いづくり事業)の支援を継続する。 では、新工会や観光は、大磯らしい潤いづくり協議会(商工会やもに、大磯らしい潤いづくり協議会(商工会やもに、大磯らしい潤いづくり協議会(商工会やもに、大磯らしい潤いづくり協議会、では、大磯らしい潤いづくり事業)の支援を継続する。 では、大磯らしい潤いづくり事業)の支援を継続する。 では、大磯らしい潤いづくり事業)の支援を継続する。 では、大磯らしい潤いづくり事業)の支援を継続する。 では、大磯らしい潤いづくり事業)の支援を継続する。 では、大磯らしい潤いづくり事業)の支援を継続する。 では、大磯らしい周いでは、大磯らしい風いでは、大磯らいのは、大磯らい風が、大磯らい風が、大磯らいのは、大磯のいのは、大磯	中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国

予算事業名	観シ	比施設	管理運	営事業	į							事業番号	04 -	13	-	14
細分事業名	_							シ	一卜作成日	令和	04年7	月20	B			
予算科目	会計	01	款	07	項	01	B	03	事業	02	事業開始年度			_	-	
了另行口	五山	O1	水人	07		O I	П	3	尹木	UZ	事業終了予定年度			_	-	
部等名													係 名			
産業環境部産業観光課											1	見光推進	係			

				柱	Ⅴ 元気や	活力が生まれるまちづく	. 6							
		総	Р	部門	31 観光									
		合計	Р	大施策	A 持続可	「能な連携と活力の創出								
		画	88	中施策	(1)地域資	『源の保全と充実								
計				施策目標	地域資源及	地域資源及び観光施設の保全と充実を進めます。								
画	事		根拠	法令・条例等			_							
P -	業の		佢	別計画等			_							
a	概要	行政	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号	_	実施項目名	-						
n)	Λ .		(作	目 的 (のために)	散策などの周遊環境を整え、快適な大磯観光を提供する									
			(計	対 象 <u></u> (重を・何を)	町民及び町外者									
		内 容 観光の拠点となる施設や周遊環境の整備 駅前ロータリー及び公衆トイレなどの維持管理 観光案内板及び案内標柱などの維持管理												

				執行体制	一台	『委託あり					
					単位	R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(決算	見込)	R04年度(予算)	
			Ī	直接事業費(a)	千円	4, 704	3, 821	5, 002		4, 753	
				国庫支出金							
			財	県支出金							
			源内	起債	千円						
	重		訳	その他		149	729	748		130	
	事業,費			一般財源		4, 555	3, 092	4, 254		4, 623	
	費	稍	員丿	(数(概算職員数)	人	0. 32	0. 48	0. 68		0.66	
				人件費計(b)	千円	1, 885	2, 835	4, 017		3, 895	
			総	事業費 (a) + (b)	千円	6, 589	6, 656	9, 019		8, 648	
			事第	養内訳(千円) R 04 年度		.費55千円、光熱水費923 F理委託料2,829千円	3千円、修繕料440千円	、手数料506千円	`		
۱ (*	本事業が属する総合計画 <i>の</i>				指標名			目標値	
,		本事業が属する総合計画の 中施策の成果指標			入込観光客数 100万人以上						

	本事業が属する網	総合計画の			指標名	名		目標	値		
	中施策の成果				入込観光	:客数		100万人	、以上		
		指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)		
指	対象指標 (対象者数等)	観光客数 (入込観	(!光客数)	千人	ı	455	649	1, 000	1, 000		
標	活動指標	トノレ生	清掃回数		計画値	730	730	730	730		
値	(活動量)	ドイレサ	7月邢巴奴	ш	実績値	730	730	1	_		
	公田 14 抽				目標値	_	_	_	_		
	成果指標 (達成度等)		_	_	実績値	_	_	_	_		
					達成率	_	_	_	_		
	定性的成果	散策など	どの周遊環境を整え、快適な大磯観光の提供に寄与している。								

		事業の実	実施に対する町民ニーズ (はあるか	② 変わら	ずにある
	妥当性	事業の廃響は大き	隆止・休止による町民生活 さいか	舌への影	② 廃止・	休止による影響は小さいがある
		今後も町	Jが実施すべき事業か		⑤ 代替と がある	なる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要
	効率性	事業費に	に削減の余地はないか		① ある	
	劝华注	関連・類	類似事業との統合はできた	ないか	② 統合に	こ向けた検討は可能
評価	右热性	事業の成果は得られているか				に 概ね出ているが、更なる努力は必要である
(C	有划注	有効性 事業の上位施策に向けた貢献度は大きしか)方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
h e c	公平性	公平性 受益者負担は公平・公正か B.			担未導入	B-① 今は受益者負担を求めていないが、今後、負担の導入を検討する必要がある
k)		·部評価等 。指摘事項				_
		双善経過 4 年間)	【令和元年度】 西久保休憩施設の新設 総合案内板 (5カ所)		内板(27基)	、案内標柱(51基)を更新
	課題施設の適切な維持管理に加え、				さらなる周辺	^{在環境の充実が求められている} 。

	区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持			
今後の方 向性の判 断	理由	施設の適切な維持	管理を行い、消	青潔な環境保持	に努めている。						
課題解決に向けて	R04年度	施設の適切な維持	管理とともに、	駅前建物(観	光案内所)の更	新を関係機関と	−連携し検討する	3 .			
た											
R04年度改善事項 駅前トイレ・高麗公衆トイレ・西久保休憩施設(公共トイレ)の定期清掃を行い、清潔な環境保持に務めるとともに、観光施設及び観光サイン表示等の維持管理を行う。											
	向性の判断 課題解けす事項 R04年度	今後の方向性の判断 理由 R04年度 課題解決に向けて着手する取組事項 R05年度	今後の方向性の判断理由施設の適切な維持課題解決に向けて着手する取組事項R05年度施設の適切な維持R04年度改善事項家駅前トイレ・高麗などもに、観光施	今後の方向性の判断理由施設の適切な維持管理を行い、活験課題解決に向けて着手する取組事項R05年度施設の適切な維持管理とともに、R04年度改善事項 るとともに、観光施設及び観光サース駅前トイレ・高麗公衆トイレ・アス るとともに、観光施設及び観光サース	理由 施設の適切な維持管理を行い、清潔な環境保持 R04年度 施設の適切な維持管理とともに、駅前建物(観理を受ける) R05年度 施設の適切な維持管理とともに、駅前建物(観知を受ける) R04年度改善事項	理由 施設の適切な維持管理を行い、清潔な環境保持に努めている。 R04年度 施設の適切な維持管理とともに、駅前建物(観光案内所)の更 R05年度 施設の適切な維持管理とともに、駅前建物(観光案内所)の更 R04年度改善事項 駅前トイレ・高麗公衆トイレ・西久保休憩施設(公共トイレ)るとともに、観光施設及び観光サイン表示等の維持管理を行う。	理由 施設の適切な維持管理を行い、清潔な環境保持に努めている。 R04年度 施設の適切な維持管理とともに、駅前建物(観光案内所)の更新を関係機関と R05年度 施設の適切な維持管理とともに、駅前建物(観光案内所)の更新を関係機関と R04年度改善事項 駅前トイレ・高麗公衆トイレ・西久保休憩施設(公共トイレ)の定期清掃を行るとともに、観光施設及び観光サイン表示等の維持管理を行う。	今後の方向性の判断 理由 施設の適切な維持管理を行い、清潔な環境保持に努めている。 R04年度 施設の適切な維持管理とともに、駅前建物(観光案内所)の更新を関係機関と連携し検討する R05年度 施設の適切な維持管理とともに、駅前建物(観光案内所)の更新を関係機関と連携し検討する R04年度改善事項 駅前トイレ・高麗公衆トイレ・西久保休憩施設(公共トイレ)の定期清掃を行い、清潔な環境 るとともに、観光施設及び観光サイン表示等の維持管理を行う。			

予算事業名	海水	〈浴場:	振興事	業								事業番号	04 -	13	_	15
細分事業名	_										シ	一ト作成日	令和	3年11,	月19日	3
予算科目	予算科目 会計 01 款 07 項 01 目 03 事業 0											業開始年度		_		
了并行口	云司	ΟI	水人	07		O I	П	03	尹木	03	事業	終了予定年度		_		
部 等 名 課 等 名											係名					
産業環境部産業観光課										観光推進係						

				柱	Ⅴ 元気や	活力が生まれるまちづく	()							
		総	Р	部門	31 観光									
		合計	P	大施策	A 持続可	「能な連携と活力の創出								
		画	88	中施策	(1)地域資	源の保全と充実								
計				施策目標	地域資源及	び観光施設の保全と充実	星を進めます。							
画	事		根拠法令・条例等 県海水浴場等に関する条例及び施行規則、大磯海水浴場の管理及び運営に関する要綱 他											
P	業の		個別計画等 大磯海水浴場ルール											
a	概要	行政:	行政経営プラン 実施計画事業 実施番号 ― 実施項目名 ―											
n)	^		(1i	目 的 可のために)	安全で誰も	が楽しめる海水浴場を閉	昇設し、町民及び	『来場者の交流を図る						
		対 象 (誰を・何を) 町民及び町外者												
		大磯海水浴場開き式の実施 ・海浜の整地、区域のブイ設置、監視所及び仮設トイレ等の開設準備 ・ライフセーバー等による監視業務等、開設期間(7月~8月)の管理及び運営												

				+1.7= t1.4.d		n z =r _ 11				
				執行体制		部委託あり アンスティー		ī		
					単位	R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(決算	見込)	R04年度(予算)
			Ī	直接事業費(a)	千円	18, 524	196	3, 593		20, 014
				国庫支出金						
			財	県支出金						
			源内	起債	千円					
	事		訳	その他						
	業			一般財源		18, 524	196	3, 593		20, 014
	費	聙	損ノ	人数(概算職員数)	人	0. 48	0. 52	1. 05		0. 93
				人件費計(b)	千円	2, 827	3, 072	6, 202		5, 458
			総	事業費 (a) + (b)	千円 21,351 3,268 9,795 25					
実施(事美	業費内訳(千円) R 04 年度	普通旅費6千円、消耗品費109千円、食糧費22千円、光熱水費500千円、修繕料70千円、手数料3,082千円、事業委託料157千円、監視委託料9,860千円、ゴミ収集・運搬委託料720千円、公衆侵所等清掃委託料1,397千円、遊泳区域標示設備設置・撤去委託料897千円、巡回委託料495千円、品借上料2,699千円					
D		本	本事業が属する総合計画の				指標名			目標値

١ ١				四日土村2,000111								
' [本事業が属する	総合計画の			指標	名		目標	値		
,		中施策の成				入込観光	:客数		100万人	以上		
			指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)		
	指	対象指標 (対象者数等)	来場者数 (町民及	(:び町外者)	千人	I	24	6	1,000	1, 000		
	指標値	活動指標	海水 淡煤	開設日数	П	計画値	57	57	57	57		
	値	(活動量)	两小石场	別的政口致	Ц	実績値	_	l	1	_		
						目標値	_	_	_	_		
		成果指標 (達成度等)		_	_	_		実績値	_	_		_
						達成率	_	_	_	_		
		定性的成果	天候によ 寄与してい		れるが、安全で誰もが楽しめる海水浴場を開				,、町民及び来場	者の交流に		

		事業の多	実施に対する町民ニーズ	はあるか	② 変わら	ずにある				
	妥当性	事業の原響は大き	廃止・休止による町民生 きいか	活への影	② 廃止・	休止による影響は小さいがある				
		今後も町	πが実施すべき事業か		④ 町民生 能	活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可				
	効率性	事業費に	に削減の余地はないか		① ある					
	効学性	関連・数	夏似事業との統合はでき	ないか	② 統合に	向けた検討は可能				
評	有効性	事業の原	 戈果は得られているか		① 成果は	出ておらず、改善が必要である				
価(C	有効性	事業の」か	上位施策に向けた貢献度	は大きい	② 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある					
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	B. 負	担未導入	B-① 今は受益者負担を求めていないが、今後、負担の導入を検討する必要がある				
k `		▶部評価等 5指摘事項				_				
		z善経過 4 年間)	【平成26年度以降】 砂浜にビーチテニス: 【令和2年度・令和34 海水浴場開設中止 【令和4年度】 海の家出店なし		置					
	課	題				には増減を繰り返しつつ、ほぼ横ばいの来場者数である。近 進もが楽しめる、安全で快適な海水浴場の開設が求められてい				

		区分	改善	R03年度	改善改善	R02年度	維持	R01年度	維持				
	今後の方 向性の判 断	理由	全国的な海水浴離 全で快適な海水浴場			ラブ化の兆候が	表れるなど、特	寺に家族連れが!	楽しめる、安				
改善(Ac	課題解決に向けて	R04年度	安全で安心な海水 実施する。また、今 合、その検討を進め	後の海水浴場や									
0 t - 0 t)	着手する 取組事項	R05年度 安全で安心な海水浴場とするため、関係機関とも連携し大磯海水浴場ルールの適正な運用やパトロールを 実施する。また、今後の海水浴場や海浜エリアの活用のあり方について、新手法の導入の見込みがある場合、その検討を進める。											
	R04年度	「誰もが安全・安心して利用できる海水浴場」とするため、大磯海水浴場等に関する協議会と連携し、来場者の増加及び周辺地域への迷惑防止対策に引き続き取り組む。特に過度なアルコール摂取や刺青・タトゥーの露出など、県下全域の取組みとして、大磯海水浴場ルールを通じた注意喚起やパトロール等による対策を継続する。また、往時の賑わいの復活に向けて、サウンディング型市場調査結果を考慮し、これからの海水浴場や海											
	記。	入日	また、往時の賑れ	いの復活に向い	けて、サウンデ		査結果を考慮し	、これからの ⁵	海水浴場や海				
	令和5年	3月20日	// / / / W	- 2 0 · C M 26 C X	=~>.00								
			また、往時の賑れ 浜エリアのあり方に			インク型市場調	食結果を考慮し	」、これからの)	海水浴場や海				

予算事業名	鴫立	Z庵管	理事業									事業番号	04 -	13	-	16
細分事業名	_										シート作成日 令和4年7月29日			田		
予算科目	自 会計 01 款 07 項 01 目 03 事業											業開始年度		_	-	
17 异 17 日	云司	O1	水人	07		O I	П	03	尹木	04	事業	終了予定年度		_	-	
部 等 名 課 等 名											係名					
産業環境部産業観光課										観光推進係						

				柱	Ⅴ 元気や	活力が生まれるまちづく	. 6							
		総	Р	部門	31 観光									
		合計	Р	大施策	A 持続可	「能な連携と活力の創出								
		画	88	中施策	(1)地域資	源の保全と充実								
計				施策目標	地域資源及	び観光施設の保全と充実	ミを進めます。							
画	事		根拠	法令・条例等	鴫立庵の設	世では、管理等に関する条例	削及び施行規則							
P -	業の		佰	固別計画等		_								
a	概要	行政	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号 — 実施項目名 — —									
n)	^		(作	目 的 可のために)	歴史的な文化財として保存活用し、文化の向上と観光の発展を図る									
			(計	対 象 進を・何を)	町民及び町外者									
				内容		して由緒ある鴫立庵 に触れていただけるよう	6指定管理者とも	連携し維持管理を図る						

				執行体制		全部	部委託							
						単位	R01年度(決算)	RO:	2年度(決算)	R03年度(決算	見込)	R04年	度(予算)
			Ī	直接事業費	t (a)	千円	9, 17	2		11, 234	10, 610	1	1	0, 751
				国庫	支出金									
			財	是 県	を出金									
			源内	走	己債	千円								
	車		訳	そ	の他					900				
	事業費			— <u>A</u>	设財源		9, 17	'2		10, 334	10, 610)	1	0, 751
	費	職	員丿	、数(概算	[職員数]	人	0. 4	2		0. 60	0. 71			0. 71
				人件費計	(b)	千円	2, 47	4		3, 544	4, 194		4	4, 160
			総	事業費(a) + (b)	千円	11, 6	46		14, 778	14, 804	ļ	1	4, 911
実施(事第	養内訳 R 04 年		報償費	登280千円、手	数料61	6千円、管	理委託料8, 700千	円、敷地借上料	1, 155千円		
D		本章	事業	が属する	総合計画の				指標:	名			目標値	直
J				施策の成		入込観光客数 100万人以上								
					指標名			単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)		R07年度 (目標)
	指			注指標 者数等)	入庵者数	(町民及	なび町外者)	人	_	5, 204	4, 876 10,		0	11, 000
	標		活重	加指標	+/1.8818	· *L		В	計画値	359	359	359		359
	値		(活	動量)	施設開場日	図			実績値	236	321			_
			-	145.12					目標値	_	_			_
				!指標 は度等)		_		-	実績値		_			_
		,				達成率 — — — — — —								_
	定性的成果 歴史的な文化財として保存活用し、文化の向上と観光の発展に寄与している。													

		事業の多	実施に対する町民ニーズ(はあるか	④ =− <i>z</i>	に応じて実施する事業ではない						
	妥当性	事業の優響は大き	廃止・休止による町民生 きいか	活への影	② 廃止・	休止による影響は小さいがある						
		今後も田	πが実施すべき事業か		④ 町民生 能	活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可						
	効率性	事業費に	こ削減の余地はないか		② ない							
	劝华庄	関連・数	頭似事業との統合はでき っ	ないか	② 統合に	向けた検討は可能						
評価	有効性	事業の原	艾果は得られているか		② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である							
三 (C	有刈江	事業の」 か	上位施策に向けた貢献度に	は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している							
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	A. 負	担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対 象等を再検討する必要がある						
k)		部評価等 指摘事項				_						
	課題 施設の特長を生かし、文化的な面にも配慮しつつ、サービスの提供・充実を図ることで、より多くの方 来庵・利活用につなげていくことが求められている。											

	区分	改善	R03年度	改善改善	R02年度	改善改善	R01年度	改善		
今後の方 向性の判 断	理由	観光部局では文化学習・文化財部局が	妥当と考えられ	ιる。一方、観	光部局は施設を	活用し、町外が				
課題解決に向けて	R04年度	文化財の適切な維	持保存の観点な	から、生涯学習	・文化財部局へ	の事業移管も初	見野に検討・協	議を進める。		
着手する 取組事項	R05年度	文化財の適切な維	持保存の観点な	いら、生涯学習	・文化財部局へ	の事業移管も初	見野に検討・協	議を進める。		
R04年度改善事項 施設の効率的な管理運営に向け、指定管理者と定期的な打ち合わせを行い、情報の交換及び共有化を図るとともに、修繕箇所の把握や修繕に向けた調整を行い、文化財としての適正な維持保全に努める。また、関係機関や活動団体、町内の事業者と指定管理者との連絡調整を行い、更なる誘客や施設の特徴を										
記》	入日	活かした利活用策の	検討を進める。				 - ·			
令和5年	3月20日									
	向性の判 断 課題向手事 取 RO4年度	今後の方 向性の判 断 理 由 R04年度 課題解決 に向けて 着手する 取組事項	中央 中央 中央 中央 中央 中央 中央 中央	理由 型 由 型 由 型 では文化財としての維持学習・文化財の「保護」の観点と「活力を表し、文化財の適切な維持保存の観点が受験を表し、文化財の適切な維持保存の観点が発達する。 取組事項 R05年度 文化財の適切な維持保存の観点が表現組事項 R05年度 文化財の適切な維持保存の観点が表現組事項 とともに、修繕箇所の把握で修繕にまた、関係機関や活動団体、町にまた、関係機関や活動団体、町に活かした利活用策の検討を進める。	報光部局では文化財としての維持管理に限界が 学習・文化財部局が妥当と考えられる。一方、観 し、文化財の「保護」の観点と「活用」の観点を R04年度 文化財の適切な維持保存の観点から、生涯学習 文化財の適切な維持保存の観点から、生涯学習 文化財の適切な維持保存の観点から、生涯学習 文化財の適切な維持保存の観点から、生涯学習 とともに、修繕箇所の把握や修繕に向けた調整を表しまた、関係機関や活動団体、町内の事業者と指表がした利活用策の検討を進める。	報光部局では文化財としての維持管理に限界があり、企画展な学習・文化財部局が妥当と考えられる。一方、観光部局は施設をし、文化財の「保護」の観点と「活用」の観点を整理する必要が	一個	報光部局では文化財としての維持管理に限界があり、企画展などでの活用も考慮すると、維持 学習・文化財部局が妥当と考えられる。一方、観光部局は施設を活用し、町外から人を呼び込むし、文化財の「保護」の観点と「活用」の観点を整理する必要がある。		

第2号様式

予算事業名	旧島	島崎藤	村邸管	理事業	į							事業番号	04 -	13	-	17
細分事業名	_								シ	一ト作成日	令和	14年7	月29日	=		
予算科目	会計	01	款	07	項	05	事	業開始年度		_						
7 并行口	云山	U1	办人	07		01	目	03	事業	3	事業	終了予定年度		_		
部 等 名 課 等 名											係名					
産業環境部産業観光課											観光推進係					

				柱	Ⅴ 元気や	活力が生まれるまちづく	. 6					
		総	Р	部門	31 観光							
		合計	P	大施策	A 持続可	「能な連携と活力の創出						
		画	88	中施策	(1)地域資	『源の保全と充実						
計				施策目標	地域資源及	び観光施設の保全と充実	ミを進めます。					
画	事		根拠	法令・条例等	旧島崎藤村	邸の設置、管理等に関す	る条例及び施行	規則				
P	業の		1	固別計画等			_					
a	概要	行政	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号	_	実施項目名	_				
n)	^		(作	目 的 可のために)	歴史的な文	歴史的な文化財として保存活用し、文化の向上と観光の発展を図る						
			(計	対 象 進を・何を)	町民及び町外者							
		内 容 文豪島崎藤村が取得、居住していた現存する邸宅 ・多くの方に触れていただけるよう観光施設として維持管理										

			執行体制		一	『委託あり						
					単位	R01年度(決算)	RO:	2年度(決算)	R03年度(決算	見込) R04:	年度(予算)
		Ī	直接事業費	(a)	千円	3, 76	5		4, 076	3, 687		5, 769
			国庫	支出金								
		財源	夫 県	出金								997
		原内	赶	□債	千円							
	事	訳		の他								
	事業費			財源		3, 76			4, 076	3, 687		4, 772
	費	1112 41	人数(概算		人	0. 30	-		0. 46	0. 61		0. 61
			人件費計		千円	1, 76	7		2, 717	3, 603		3, 570
		総	事業費(a) + (b)	千円	5, 53	2		6, 793	7, 290		9, 339
実施(D		事多	費内訳(R 04 年					種保守委詞	通信運搬費45千 £料348千円、工		円	
0		本事業	が属する約	総合計画の		<mark>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</mark>						
_		中	施策の成績	果指標			入込観光客数 100万人以上					
		指標		指標名	指標名			項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	指	対象指標 (対象者数等) 来場者(I		来場者(町	(町民及び町外者)		人	_	5, 697	4, 797	15, 000	15, 000
	標	活重	汗 動	##=0.881P =	1 M.L.			計画値	312	314	312	314
	値		動量)	施設開場日	1 釵		日	実績値	212	280	_	_
		_ _	9 +比+番					目標値	_			
			早指標 は度等)		_		—	実績値				
		``~_''						達成率				

実績値 達成率

歴史的な文化財として保存活用し、文化の向上と観光の発展に寄与している。

定性的成果

		事業の多	実施に対する町民ニーズ	はあるか	④ =− <i>z</i>	(に応じて実施する事業ではない
	妥当性	事業の序響は大き	廃止・休止による町民生 きいか	活への影	② 廃止・	休止による影響は小さいがある
		今後も町	Tが実施すべき事業か		④ 町民生 能	E活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可
	効率性	事業費に	こ削減の余地はないか		① ある	
	劝华注	関連・紫	頁似事業との統合はでき	ないか	② 統合に	に向けた検討は可能
評価	有効性	事業の原	対果は得られているか		② 成果は	は概ね出ているが、更なる努力は必要である
(C	有刈庄	事業の』か	上位施策に向けた貢献度に	は大きい	② 事業の)方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	B. 負	担未導入	B-① 今は受益者負担を求めていないが、今後、負担の導入を検討する必要がある
k)		部評価等 指摘事項				_
		z善経過 4 年間)				_
	課	題				見族が居住していた隣家の利活用など、前面のポケットパーク 食等について検討が必要である。

		区分	改善	R03年度	改善	R02年度	改善改善	R01年度	改善
	今後の方 向性の判 断	理由	観光部局では文化 学習・文化財部局が し、文化財の「保護	妥当と考えら れ	1る。一方、観	光部局は施設を	活用し、町外が		
			l .						
改善(Ac	課題解決に向けて	R04年度	文化財の適切な維	持保存の観点な	いら、生涯学習	・文化財部局へ	の事業移管も初	見野に検討・協	義を進める。
0 + - 0 r)	着手する 取組事項	R05年度	施設の効率的な維 適正な維持・保存に また、サウンディ	努める。					化財としての
	R04年度	改善事項	施設の効率的な組 適正な維持・保存に また、鴫立庵や明 るための法的課題な	: 努める。 治記念大磯邸園	園、旧吉田茂邸	との連携による	施設の活性化に	向けて、邸宅	内に出入りす
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	3月20日	さらに、並行して 課題等の聞き取りを	民間事業者へ加					
	ተ የከንተ	-0/1/2011							

予算事業名	みた	ょとオ	アシス	推進事	業							事業番号	04 -	1	3	-	18
細分事業名	_										シ	一ト作成日	令	和44	¥8 ,	月9日	
予算科目	会計	01	款	08	項	06	目	01	事業	02	事	業開始年度	3	平成	21年	度	
) Ji 17 D	五司	U1	办人	00		00	П	O1	尹木	02	事業	終了予定年度			_		
Ė	部等名	3						課等	名				係 名				
産	業環境	部					Ē	産業観	光課			7.	なと推進	鯀係			

				柱	Ⅴ 元気や	活力が生まれるまちづく	(1)	
		総	Р	部門	30 勤労・	就業/31 観光		
		合計	F	大施策	A 就業機	会の確保・創出/A 持	持続可能な連携と	活力の創出
		画	86 88	中施策	(1)働く機	会や場の創出/(3)元	元気が出る経営環	境の創出
			00	施策目標	町内で働く	機会や場を生み出す。均	也域特性を生かし	た働く場や活力の創出を支援する。
計画	事		根拠	法令・条例等			_	
P	業の		1	固別計画等	大磯らしい	潤いづくり計画		
l a	概	行政:	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号	_	実施項目名	_
n •	要		(作	目 的 可のために)	みなとオア	シスエリアの活性化を図	図り、産業の創出	や販路拡大を促進する。
			(計	対 象 進を・何を)	町民、町外	者、農業・漁業・商業関	月 係者、町施設指	定管理者
				内 容	大磯港賑わ	シスエリアの活性化によい交流施設を活用した事 い交流施設を活用した事 い交流施設の維持管理		出 たな販路としての利用促進

			執行体制		職員	員実施								
					単位	R01年度(決算)	RO:	2年度(決算)	R03年度(決算	見込) R04	年度(予算)		
		Ī	直接事業費	を (a)	千円	245	j		0	511		1, 603		
			直接事業費(a) 国庫支出金 県支出金 県支出金 県支出金 の他 一般財源 職員人数(概算職員数) 人件費計(b) 総事業費(a)+(b) 事業費内訳(千円) R 04 年度											
		財	県3	5出金										
		源	走	记债	千円									
	事	訳	そ	の他								100		
	事業		— 舟	设財源		245	i			511		1, 503		
	費	職員	総事業費 (a) + (b) 事業費内訳 (千円)		人	0. 3	5		0. 35	1. 25		0. 93		
			総事業費 (a) + (b) 事業費内訳 (千円)		千円	2, 06	52		2, 067	7, 384		5, 458		
		総	事業費内訳(千円)		千円	2, 30)7		2, 067	7, 895		7, 061		
実施(Ŧ				普通旅費8千円、消耗品費478千円、印刷製本費272千円、修繕料(維持補修費)605千円、 負担金補助及び交付金240千円								
		本事業が属する総合計画の												
D		本事業	が属する	総合計画の				指標	名		目相	票値		
D • •							3	指標: 5様な働き方へ 町内事業	<u></u> の取組件数		5	票値 件 59件		
_							単位	5様な働き方へ	<u></u> の取組件数	R03年度 (決算見込)	5	件		
_	指	中対象		果指標 指標名		场利用台数		5様な働き方へ 町内事業	の取組件数 者数 R02年度		5 1, 2 R04年度	件 59件 R07年度		
_	指標	対領(対象	施策の成 東指標 者数等) 動指標	果指標 指標名 臨港道路付		· 場利用台数	台	5様な働き方へ 町内事業	の取組件数 者数 R02年度 (決算)	(決算見込)	5 1,2 R04年度 (予算)	R07年度 (目標)		
_	指標値	対領(対象	施策の成 象指標 者数等)	果指標 指標名		5場利用台数	単位	る様な働き方へ 町内事業 項 目	の取組件数 者数 R02年度 (決算) 81,692	(決算見込) 134, 254	R04年度 (予算) 117,000	R07年度 (目標) 117,000		
_	標	対象活動	施策の成: 東指標 者数等) 動指量)	果指標 指標名 臨港道路付		· 場利用台数	台	・ 様な働き方へ 町内事業 項目 ー 計画値	の取組件数 者数 R02年度 (決算) 81,692 0.33	(決算見込) 134, 254 1. 25	R04年度 (予算) 117,000 0.93	件 59件 R07年度 (目標) 117,000 0.90		
_	標	対 対象 活活 成!	施策の成: 東指標等) 動動 標道) 果指標	集指標 指標名 臨港道路付 職員数	属駐車	場利用台数	台	「様な働き方へ来」 項 目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の取組件数 者数 R02年度 (決算) 81, 692 0. 33 0. 35	(決算見込) 134, 254 1. 25 1. 25	R04年度 (予算) 117,000 0.93	件 59件 R07年度 (目標) 117,000 0.90		
_	標	対 対象 活活 成!	施策の成: 東指標 者数等) 動指量)	集指標 指標名 臨港道路付 職員数	属駐車		台人	様な働き方へ 町内内事業 項 目 計画値 実績値 目標値	の取組件数 者数 R02年度 (決算) 81,692 0.33 0.35 81,000	(決算見込) 134, 254 1. 25 1. 25 81, 000	R04年度 (予算) 117,000 0.93	件 59件 R07年度 (目標) 117,000 0.90		

		事業の実	実施に対する町民ニーズ	はあるか	② 変わら	ずにある				
	妥当性	事業の序響は大き	ጅ止・休止による町民生 だいか	活への影	③ 廃止・	休止による影響は大きくある				
		今後も町	Jが実施すべき事業か		⑤ 代替と がある	: なる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要				
	効率性	事業費に	こ削減の余地はないか		① ある					
	劝平正	関連・類	頁似事業との統合はでき	ないか	② 統合に	に向けた検討は可能				
評価	有効性	事業の成	対果は得られているか		② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である					
(C	有劝压	事業の上か	上位施策に向けた貢献度	は大きい	②事業の)方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある				
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	B. 負:	担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない				
k)		の外部評価 る指摘事項				_				
		z善経過 4 年間)	【令和4年度】	の代表施設		幾港賑わい交流施設の供用開始 ≤オアシス推進事業」に変更				
	課	題	みなとオアシスエリフ	アの活性化	に資する事業	集を具体化する必要がある。				

		区分	拡充	R03年度	拡充	R02年度	改善改善	R01年度	改善					
	今後の方 向性の判 断	理由	大磯港賑わい交流 した様々なイベント スエリアでの新たな	等を企画し、∂	りなとオアシス	エリアの活性化	を創出していく							
改善(Ac	課題解決に向けて	R04年度	みなとオアシスエ をはじめとする関係			具現化するため	、事業者や大磯	浅港の 設置者で	ある神奈川県					
0 + - 0 r)	着手する 取組事項	けて する 												
	R04年度改善事項													
	記入日 記入日 記入日													
	令和5年	3月20日												

予算事業名	大磁	機港指	定管理	事務事	業							事業番号	04	-	13	-	19
細分事業名	_										シ	一ト作成日		令和	4年8	月9日	
予算科目	会計	01	款	08	項	06	目	01	事業	03	事	業開始年度		平	成214	F度	
17 异 17 日	云山	O1	办人	00	炽	00	П	O1	尹木	3	事業	終了予定年度			_		
台	部等名	3						課等	名				係	名			
産	業環境	部					Ē	産業観	光課			J	なと推	進	系		

			柱	Ⅴ 元気ヤ	た活力が生まれるまちづく	. 6	
		р	部門	31 観光			
	台計	Г	大施策	A 持続可	T能な連携と活力の創出		
	画	88	中施策	(1)地域資	資源の保全と充実		
			施策目標	地域資源及	及び観光施設の保全と充実	ミを進めます。	
事		根拠	法令・条例等	港湾の設置	置及び管理等に関する条例	削 (神奈川県)	
業		1	固別計画等	大磯港活性	生化整備計画(平成19年1	0月 神奈川県)	
概	行政	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号	_	実施項目名	-
¥		(作	目 的 可のために)	神奈川県と 行う。	この間で締結した「大磯渚	の管理に関する	基本協定書」等に基づき、大磯港の管理を
		(計	対 象 進を・何を)	町民、町タ	卜者、漁業関係者、骨材事	章業者	
			内 容	関係各機関	との調整	や事業の実施	
	の	事 業 の 概 行政:	合計画 根拠 事業の概要 (信	総合計画 88	##	総合計画 部 門 31 観光 事 本施策 A 持続可能な連携と活力の創出 中施策 (1)地域資源の保全と充実施策目標 事業の問別計画等 大機港活性化整備計画(平成19年10分析 概要 日め(何のために) 神奈川県との間で締結した「大磯港行う。 財象 (誰を・何を) 町民、町外者、漁業関係者、骨材事 内容 施設の維持管理 関係各機関との調整	## お 門 31 観光

				執行体制		— <u>‡</u>	部委託あり							
						単位	R01年度(決算)	R0	2年度(決算)	R03年度(決算	見込) R04年	∓ 度(予算)	
			直	接事業費	(a)	千円	48, 54	46		44, 190	52, 846	i l	65, 080	
				国庫	支出金						1, 491			
			財	県支	出金									
			源内	起	2債	千円								
	重		訳	そ	の他		48, 54	46		44, 190	51, 355	j	65, 080	
	事業費			一般	別源									
	費	職		.数(概算		人	0. 59			0. 69	1. 12		0. 93	
				人件費計	(b)	千円	3, 47	5		4, 076	6, 616		5, 458	
			総事	事業費(a)) + (b)	千円 52,021 48,266 59,462 70,538								
実施(Do		太平		費内訳(R 04 年 	度	945千円、	自動車損害保険料1	6千円、管	理委託料19,5	87千円、保守委託料3,2 0千円、庁用器具購入費2	千円、修繕料(維持補修 5千円、複写機借上料12 0千円、大磯港指定管理:	I千円、放送受信料15千	円、物品借上料	
0		771-	本事業が属する総合計画の 中施策の成果指標						入込観光	治客数		100万。	人以上	
			指標:					単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)	
	指		対象指標 (対象者数等) 駐車場利用			料		千円	_	56, 560	73, 140	84, 660	84, 660	
	標		活動	指標	_L_T66 >++ 64 ±+	- <i>h</i> /- TE -7	-1±	2	計画値	83, 752. 6	83, 752. 6	83, 752. 6	83, 752. 6	
	値			動量)	大磯港維持	F官埋田	1項	m [†]	実績値	83, 752. 6	83, 752. 6	_	_	
									目標値	81, 000	81, 000	117, 000	117, 000	
				指標 (度等)	駐車場利用	台数		台	実績値	81, 692	134, 254	_	_	
		l `	进水	(文寸)					達成率	100. 9%	165. 7%	_	_	
		5	定性的	的成果						_				

		事業の実	実施に対する町民ニーズ	はあるか	② 変わら	② 変わらずにある					
	妥当性	事業の序響は大き	隆止・休止による町民生 きいか	活への影	③ 廃止・休止による影響は大きくある						
		今後も町	Tが実施すべき事業か		⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある						
	効率性 有効性	事業費に	こ削減の余地はないか		① ある						
		関連・類	頁似事業との統合はでき	ないか	③ 統合で	きさない					
評価		事業の成	 伐果は得られているか		② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である						
(C		事業の上か	上位施策に向けた貢献度(は大きい	② 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある						
h e c	公平性	受益者負	負担は公平・公正か	A. 負:	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対 象等を再検討する必要がある						
k)		▶部評価等 括摘事項				_					
		双善経過 4 年間)	第1期指定管理業務 《平成26年度~平成30年 第2期指定管理業務 《令和元年度~令和5年	成21年度~平成25年度] 5 1 期指定管理業務を受託 成26年度~平成30年度] 5 2 期指定管理業務を受託 和元年度~令和5年度] 5 3 期指定管理業務を受託							
	課題		来訪者に向けて各種イベントの実施及び防災に関する情報発信及び啓発をする必要がある。								

	区分	改善	R03年度	改善	R02年度	改善	R01年度	改善							
今後の方 向性の判 断	理由		県の指定管理者として、港湾施設の維持管理については概ね実施できている。今後、地域資源としての大 磯港の利活用を進め、来訪者の増加を図るとともに、観光及び防災に資する港内情報の充実を推進する必要 がある。												
		<u> </u>													
課題解決に向けて	R04年度	賑わいと活気のあ えていくとともに、	る大磯港を目打 来訪者に対して	指し、各指定管∶ て観光及び防災	理者と連携を図 こ資する情報発	り、年間を通じ 信及び啓発に多	に来訪者が訪? そめていく。	れる環境を整							
着手する 取組事項	R05年度			次期指定管理	者として再度指	定を受けるため	う、大磯港の活 ^を	性化に資する							
R04年度改善事項		た。また、有事の際の	防災力強化にお												
107	•	引き続き、神奈川	県等の関係団体	本と協議連携を	図り、適切な施	設の維持管理に	⊆努め、平時の	観光、有時の							
令和5年	3月20日														
	向性の判 課題解けす事項 R04年度	今後の方向性の判断 理由 R04年度 課題解決に向けて着手する取組事項 R05年度	マラ (大磯港に新たな施 下の4年度 で また、 有手に で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	中の地域 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中	中の	現の指定管理者として、港湾施設の維持管理については概ね実機港の利活用を進め、来訪者の増加を図るとともに、観光及び防がある。 R04年度 表しいと活気のある大磯港を目指し、各指定管理者と連携を図えていくとともに、来訪者に対して観光及び防災に資する情報発験に向けて着手する取組事項 指定管理期間の最終年度であり、次期指定管理者として再度指事業の検討及び提案を行う。 大磯港に新たな施設が整備されたことにより、来港者が増えてまた、有事の際の防災力強化においては、近隣住民に対して防意識の向上に努めた。 引き続き、神奈川県等の関係団体と協議連携を図り、適切な施際の防災力強化を図る。	保の4年度 保護 保護 保護 保護 保護 保護 保護 保	保の指定管理者として、港湾施設の維持管理については概ね実施できている。今後、地域資産を受ける。							

成果指標

(達成度等)

定性的成果

第2号様式

予算事業名	ポー	-トハ	ウスて	るがさ	事業番号 04 - 13 -				20							
細分事業名	_								シート作成日 令和4年8月9			月9日				
予算科目	会計	01	款	款 08	項	06	目	01	事業	05	事	業開始年度	平成29年度			
17 异 17 日	云山			事業終了予定年度		_										
Ė	部 等 名							課等	名		係名					
産			Ē	産業観	光課		みなと推進係									

			柱	Ⅴ 元気や	活力が生まれるまちづく	. 6								
		С	部門	31 観光										
	台計	P	大施策	A 持続可	能な連携と活力の創出									
	画	88	中施策	(1) 地域資源の保全と充実										
			施策目標	地域資源及	b域資源及び観光施設の保全と充実を進めます。									
事	根拠法令・条例等			ポートハウスてるがさきの設置、管理等に関する条例及び施行規則										
業の		1	固別計画等											
概要	行政:	経営フ	プラン 実施計画事業	実施番号 — 実施項目名 — —										
`		(作	目 的 可のために)	利用者が施設を安全、安心及び快適に利用できる空間を提供する。										
		(計	対 象 進を・何を)	ポートハウスてるがさき										
内 容 利用者が安全安心快適に利用できる施設として運営及び維持管理 指定管理者と連携し、運営及び維持管理を実施														
	業の	事 業 の 概 行政:	合計画 88 事業の概要 (信	総合計画 88 中施策 中施策 施策目標 根拠法令・条例等 個別計画等 行政経営プラン 実施計画事業 目 的 (何のために) 対 象 (誰を・何を)	##	##	** ※ おおおります。 事業の概要 ・ 大施策 A 持続可能な連携と活力の創出 事業の概要 ・根拠法令・条例等 ・ポートハウスでもがさきの設置、管理等に関する条 事業の概要 「で政経営プラン 実施計画事業 実施番号 ー 実施項目名 専業の表現を表現します。 ・大加報を表現します。 事業の概要 ・「大政経営プラン 実施計画事業 実施番号 ー 実施項目名 ・対象 (誰を・何を) ・利用者が施設を安全、安心及び快適に利用できる施設として運営							

			執行体制										
					単位	R01年度(決算)	RO	2年度(決算)	R03年度(決算	見込) R04	年度(予算)	
		Ī	直接事業費	(a)	千円	円 17, 352			13, 593	15, 197	1	14, 822	
			国庫	支出金									
		財	失果	出金									
		源内	赶	2債	千円								
亘	Į.	訳	そ	の他		15, 208			13, 593	15, 197	1	14, 822	
当	事 業_		一般	財源		2, 144							
堻	貴	職員人数(概算職員数)			人	0. 30	ĵ		0. 35	0. 82		0. 73	
	L	人件費計(b)				2, 12	0		2, 067 4, 844			4, 278	
		総	事業費(a) + (b)	千円	19, 4	72		15, 660	20, 041	19, 100		
実施(事業費内訳(千円) R 04 年度			修繕料	1. (維持補修型	3) 200						
					12 111		() ZUU	千円、管地	里委託料14, 488 7	· <mark>一</mark> 円、物品借上料	134千円		
ן ט	Ì	太宝堂				בעיו הווינים היידי ויונים היידי ויונים היידי ויונים היידי היידים היידים היידים היידים היידים היידים היידים היי	() ZUU	千円、管理 指標:		·円、物品借上料 ————————————————————————————————————		票値	
D 0				総合計画の		Net in the second	() ZUU		<u> </u>	· 円、物品借上料	目柱	票 <mark>値</mark> 人以上	
0			が属する約	総合計画の		VIELIVI III IVE	単位	指標	<u> </u>	F円、物品借上料 R03年度 (決算見込)	目柱		
0	-	対象	が属する約	総合計画の 果指標 指標 名 ポートハウン	スてるかシャワー	べさき利用者数 -、トイレ、レ	単位	指標:	名 客数 R02年度	R03年度	目 100万 R04年度	人以上 R07年度	
0	-	対領(対象	が属するが施策の成場	総合計画の 表指標指標名ポートハウ: (プーレール・ファーリー)マートハウ: (ファーレール・ファーリー)	スてるかシャワー	べさき利用者数	単位人	指標:	名 客数 R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	目 ¹ 100万 R04年度 (予算)	人以上 R07年度 (目標)	
0	-	対象 (対象	が属する系施策の成場	総合計画の 果指標指標名ポートハウン (プール、)	スてるかシャワー	べさき利用者数	単位	指標。 入込観光 項目	名 客数 R02年度 (決算) 7,230	R03年度 (決算見込) 17,617	目 100万 R04年度 (予算) 31,000	人以上 R07年度 (目標) 35,000	

指定管理者の自主事業等を通じて、港湾・海浜エリアの利便性向上、周辺の地域特性を生かしたスポーツアクティビティの提供、町内周遊の起点として活用されており、施設の有効活用に寄与している。

実績値

達成率

		事業の実	ミ施に対する町民ニーズ(はあるか	② 変わら	らずにある					
	妥当性	事業の序響は大き	軽止・休止による町民生 きいか	活への影	② 廃止・休止による影響は小さいがある						
		今後も町	Tが実施すべき事業か		③ 国・県・民間等でも同様の事業やサービス等を行っており、町で実施する必要性は低い						
	効率性	事業費に	こ削減の余地はないか		② ない						
		関連・類	頁似事業との統合はでき	ないか	③ 統合で	ごきない					
評価	有効性	事業の成	 伐果は得られているか		② 成果は	は概ね出ているが、更なる努力は必要である					
Ĉ	行 <i>划</i> 正	事業の上か	上位施策に向けた貢献度(は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している						
h e c	公平性	性 受益者負担は公平・公正か A. 負				A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対 象等を再検討する必要がある					
k •		部評価等 指摘事項				_					
		z善経過 4 年間)	【平成29年度~令和3年 第1期指定管理業務3 【令和4年度~令和8年 第2期指定管理業務3	を委託 ∓度】							
	課題		プール設備をはじめカ	拖設の老朽	化。						

	区分	改善	R03年度	改善	R02年度	改善	R01年度	改善						
今後の方 向性の判 断	理由	指定管理者との連携により、ポートハウスてるがさきはもとより、港湾・海浜エリアの利活用・活性化を 図る。												
課題解決に向けて	R04年度	利用者が安全安心	利用者が安全安心、また快適に利用できる施設として、中長期保全計画を策定する。											
着手する 取組事項	R05年度	令和4年度に策定	した中長期保全	全計画に基づき	、施設の改修及	び修繕を進める	.							
R04年度改善事項		みなとオアシスエリアを構成する施設としての将来像や、今後施設の改修や修繕に掛かるコスト等を記載 した中長期保全計画を策定した。策定した中長期保全計画を基に、施設の改修及び修繕を実施する。												
記》	八日	5 き続き、指定管 	埋者と協議連携	馬を凶り、誰も∶	が安心安全に利	用できる施設選	[宮に努める。							
令和5年	3月20日													
	向性の判 断 課題向手事 取 RO4年度	今後の方 向性の判 断 理 由 R04年度 課題解決 に向けて 着手する 取組事項	今後の方向性の判断理由指定管理者との連図る。R04年度R04年度利用者が安全安心R05年度令和4年度に策定R04年度改善事項 記入日みなとオアシスエー した中長期保全計の引き続き、指定管	今後の方向性の判断理由指定管理者との連携により、ポー図る。R04年度利用者が安全安心、また快適に利用者が安全安心、またけ適に利用者が安全安心、またけ適に利用者が安全安心、またけ適に利用者が安全安心、またけ適に利用者が安全安心、またけ適に利用者が安全安心、またけ適に利用者が安全安心、またけ適に利用者が安全安心、またけ適に利用者が安全安心、またけ適に利用者が安全安心、またけ適に利用者が安全安心、またけるないまたりまたけるないまたけるないまたけるないまたけるないまたけるないまたけるないまためるないまたけるないまためるないまためるないまたけるないまためるないないまためるないないまため	中の地域 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中	理由 指定管理者との連携により、ポートハウスてるがさきはもとよ図る。	理由 指定管理者との連携により、ポートハウスてるがさきはもとより、港湾・海海図る。	日本の 日						